

VOLUME 7 NO.3 APRIL 1989

J A P A N R E G I O N



“TOWARDS NEW PROGRESS”

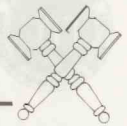
新たな発展へ

目 次

リージョン会長メッセージ	1
Div. VI副会長ルビー・ムーンさんからのメッセージ	2
“日本ITCが40周年を迎えるにあたって”	3
日本ITCが40周年を迎えるにあたって	4～6
第7回日本リージョン大会	7
大会プログラムと教育セッション	8
第7回日本リージョンプログラム	9
リージョン大会ワークショップ	10
Workshop Program	11
リージョン派遣員と代理人	12
ITCコンベンション・ラスベガス大会参加者募集のお知らせ	13
増設委員会より	14
朗読研修活動報告	15
日本リージョン事務局基金について	16
日本リージョン事務局積立基金募集の標語最優秀作品発表	17
祝チャーター	17
日本リージョン資料一覧表	18
ITCコミュニケーターより	19～28
リージョン会報第2号の訂正	28
SUMMATION OF RESULTS OF THE “YOU TALK— WE’LL LISTEN” OPINION POLL	29～32
こんなプログラムは如何?	32
ITC日本リージョン補正予算	33・34
編集後記	



リージョン会長メッセージ Region President's Message



リージョン会長 鈴木宏子



年の初めに昭和天皇の崩御、2月24日に大喪の礼と国家的行事があり、激動の日々でございました。昭和に生まれ、昭和と共に生きてきた私共にとりまして全て初めての思いがけない出来事でした。

今、桜花爛漫の季節、日本リージョン役員、大会ホステスカウンシルの会員は6月のリージョン大会に向けて準備に追われています。大会にはルビー・ムーンITC副会長、ディヴィジョンⅥをお迎えします。ワークショップの講師には皆様の御期待に添えるような素晴らしい方々をお願いしています。ウィークデーに大会を行いますことは、職業を持っておられる会員には申し訳ないことですが、現在のように会員の80%が第二種兼業主婦であることと、会場が取りやすく、経済的に安いので会員の負担が少ない理由によるものです。お一人でも多くの会員の参加、有意義な大会となりますことを切望い

たしております。

さて事務所の件ですが、会長メール、カウンスル公式訪問、基金委員会、広報委員会で会員皆様の認識と御理解に努めてまいりましたが、もっと具体的に必要金額を出したほうがよい、必要金額を明示すべきであるという声が高まってまいりました。たいへん有難いことです。現在の契約が切れる1990年に事務所を借りる為に諸経費として500万円は積み立てたいと考えます。これは事務局基金募集として会員の御寄付を仰いでおりますが、初年度は200万円を目標額といたしました。又運営費として年間、家賃、光熱費、人件費、電話代等150万円が必要と思われませんが、一人宛1,300円になります。これは全会員で負担していただくべきと考えます。リージョン会費を値上げすべきか、事務費として別途徴収するか、とにかく会員の皆様の一層の御理解、御協力をお願いする次第です。

At the beginning of this year, Showa Emperor died and on the 24th of February, the national event, his funeral ceremony was held. For us who were born in Showa and had lived in Showa era, this was our first and sudden experience.

Now cherry blossoms are in full bloom. Japan Region Board and members of hostess council are very busy preparing for regional conference in June. We will welcome Rubby Moon, ITC Vice-President Division VI. As leaders of workshop, we are inviting several wonderful persons for you. Since conference will be held on weekdays, it may be inconvenient for members who have jobs. The reason for this is 80% of members are housewives and also it is easier to contract the hall during weekdays than on weekends. I hope many of you will join us and the conference will be significant for all.

In regard to office affairs, through President mail, council official visit, Fund committee, P.R. committee, we have tried to gain all the members understanding.

However, many members suggested that it would be nicer to increase or raise the contribution by stating the exact amount of fund which is necessary.

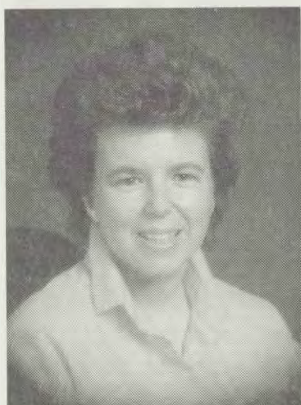
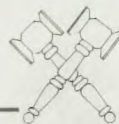
We appreciate your concern very much. Therefore, in order to continue leasing and running the official affairs, we would like to raise ¥5million by 1990 when the contract expires.

We wish to accomplish this office fund raising project through contribution from members.

Our goal for the first year will be ¥2million. In addition to that, ¥1.5million will be needed for annual maintenance, such as rent, utility, personnel expenses and telephone bills. We believe that all members should share this burden, which means that each member is responsible for ¥1,300. Whether we will try to raise this amount by increasing regional membership fees, or through other means, we would like to ask for your understanding and cooperation on this matter.



Div. VI副会長ルビー・ムーンさんからのメッセージ



私はディヴィジョンVI副会長のルビー・ムーンです。担当地域は、インドからフィジーにまで及びます。私は18年間ブラックタウンシティクラブの会員です。オーストラリア シドニーの郊外に住んでおります。

私の家族は、主人のバリーです。私は夫と共に技術系の会社を所有し、私が経営管理をしています。子供は2人とも成人です。娘のロレインは、学校の先生で、現在5才から7才の子供を教えています。息子のグリーンはマスターカーペンターです。私の家はペットでいっぱいです。赤毛の猫が一匹と犬を三匹飼っています。コッカスパニエルが一匹と、ジャーマンシェパード二匹です。バリーは、家の庭の裏にある大きな鳥小屋に、美しいオーストラリアオウムを飼っています。

仕事の上で、私はITCに随分助けられました。というのは、私は学校教師として訓練を受けて来ましたから、経営管理は私にとって新しい分野でしたが、ITCは私に必要な技術を教えてくれましたし、他の経営課程を勉強する自信を与えてくれたからです。

私は常に、教える事が一番好きで、ITC技術や経営管理のセッションで訓練を指導するのを楽しみにしております。私は、オーストラリア訓練・開発研究所の一員です。この組織は、企業の為の訓練セッションの指導を任されている人々の集まりです。

ITCのため、趣味に費やす時間はあまり残りませんが、時間がある時は、手織り(タペストリー)と読書で過ごします。私が一番興味を持っているのは、大学で勉強した古代史です。旅行をしながら、この興味を拡げてきました。皆様の美しい国を訪問できる機会を得ました事は、私にとりまして大きな喜びであり、今回が日本への初めての訪問になりますので、とても興奮しております。

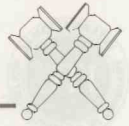
ITC役員会を代表いたしまして、私は、リージョン大会を機に、日本リージョンの皆様にごあいさつ申し上げます。ITC公式訪問者として大会に出席できます事は、誠に光栄であり、リージョン役員会の方々や、日本リージョンの皆様にお会いできます事をうれしく思っております。

2nd March 1989

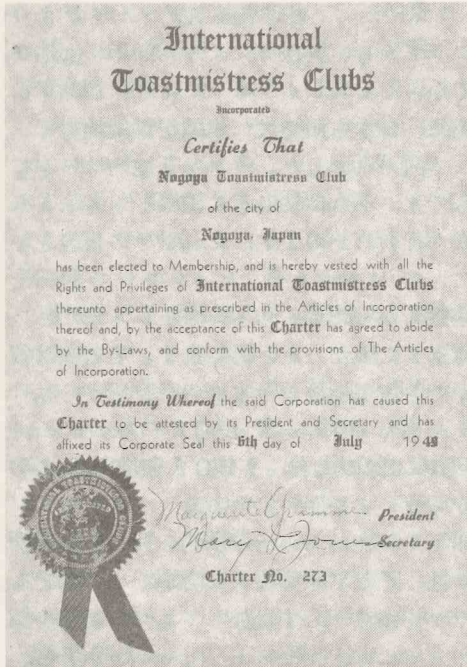
Ruby Moon
Vice President Division VI



“日本ITCが40周年を迎えるにあたって”

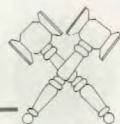


日本リージョン会長 鈴木宏子



今年、1989年は名古屋クラブがチャーターされた、1949年7月5日より丁度40周年目に当たります。昨年の1988年はITCが誕生して50年目のお祝いをしましたが、コミュニケーターにも50年を振り返っての記事がいろいろと載っていました。1988年3巻4号、3月/4月号の20頁には“御存知でしたか”と云う見出しで、「1949年7月にチャーターされた名古屋クラブはP.W. Dumont, D.H.PassellとJohn Mackeeによって創設されました。……そして1988年には3人の終身会員を有し、強力に活発に続いています」と云う記事がありました。それまで私たち名古屋クラブの会員達は日本人が会員として加入した1951年を名古屋クラブのチャーターされた年と考えていましたが、やはり、本部に登録されている通り、1949年をチャーターされた年としなければならないと考えます。1949年、昭和24年頃は、日本はアメリカの占領下であって、食糧事情も悪く、文化生活にはほど遠い生活でしたが、女性達は自由と男女同権を与えられ未来に光を感じ始めていました。日本の

のあちこちにアメリカ軍事基地があったのですが、ITCが誕生したのは名古屋と座間の「ちょうちんクラブ」だけでした。恐らくアメリカ人だけが会員であった「ちょうちんクラブ」は消滅し、日本人を加入させた名古屋クラブは、日本のITCの今日の発展を見る礎となりました。今世界中のITC会員より、日本リージョンが一番活発なリージョンとして注目を集めています。風化していく過去を記録しておく為に、次頁に日本に於ける最初の会員でいらした山本尚さんのスピーチを載せましたが、少し訂正事項を書かせていただきます。1955年版の「The Toastmistress Handbook」1頁にITCの創設の頃のことを書かれていますが、トーストミストレスという名は1929年にもう使っているクラブがあって、1938年、その名が、合衆国の特許事業所に既に登録されていた為、「インターナショナル・トーストミストレスクラブ」として組織したと書かれています。同じ本の4頁に、1949年、日本の名古屋に、全会員を日本人とする目標をもって軍人の夫人達によって構成されるクラブがチャーターされたと書かれています。次いで1951年の所に、日本の婦人達が政府からトーストミストレスに加入する許可を得た。これは日本の歴史上で、婦人がこのような国際的な組織に加入するのを許された初めての事であった。50人のニュースレポーターが、トーストミストレスの就任式を見ようとこの会合に出席した。「The Toastmistress Handbook」が翻訳され1951年の9月には名古屋クラブには6人のアメリカ人会員と、22人の日本人会員がいた。その期に選出された全役員が日本人であったと述べられています。ITCと云う呼び名に慣れた私共に、トーストミストレスという名が既に昔のものになりかけています。昭和24年当時の日本の状態を経験した世代もだんだん少なくなると、戦争を知らない世代が増えていくと共に、ITCが日本に誕生したバックグラウンドも十分に理解出来なくなるのを恐れて、山本尚さんのお話を載せ訂正を加えました。



“日本ITCの起源”

カウンスルNo.5 第一回例会(1988.10.27)

山本尚さんのスピーチより

ITCは皆様をご存知のように男性クラブのマスタースクラブから、奥様方により1929年に女性だけのトーストミストレスクラブを發足しました。發足してからミセス・ホワイトにより、1938年に国際トーストミストレスクラブが設立されました。名古屋に、日本占領時代に米国空軍基地内で、1949年にドメスティック・トーストミストレスクラブとして開かれました。それは基地内は日本にあってもアメリカ軍としては、米国内とみなしていたからです。それは1951年に国際トーストミストレスクラブにきりかえて申請をしておしてチャーター式が行われたのです。これだけの報告をいたしましたならば、皆様にとり平凡な報告で当たり前のことで「はあはあそうだったのか」と思ったことでしょう。年代はきっちり合っておりますが内容は全然ちがったトーストミストレスでございました。それは、私が東京から名古屋にまいりまして一年過ぎた頃だったと思います。名古屋は復興の真最中、占領軍華やかそのものの時代、そうしたなかで名古屋空軍司令部の教育局から私に出頭するよう命令書がまいりました。指定の日に行き、ミスター・ジョージ(民間人でありました)にお目にかかりました。日本人側は、森村商事の水野様(しのぶ様の夫君)、YMCAの増田様、この方も男性の方でたった三人でございました。さっぱりわからないまま聞いていると、ミスター・ジョージの奥様が大へんに日本を気に入っているのに、占領下の現在いろいろな制約の為に日本女性に会いたくてもメイド以外には会えず、他の普通の日本女性、そして家庭婦人に会いたくても、それも合わせてもらえるわけにはいかないので、婦人クラブを作りそして参加してもらい親交を深めたいと言っている、ということでした。二回目の会合のときには、ミセス・ジョージと水野様、増田様と私とで会いそこでトーストミストレスクラブがあるということを知りました。そのトーストミストレスクラブを通して日本婦人たちと接触をし発展をするように交流をはかりたいと、私達に相談の話でした。

水野様も増田様も男性の方なのでその話に戸惑ってしまわれた様で、それで水野様は家内に相談をして返事をする。増田様は「今ちょっと家内が出席できないのでしばらく猶予が欲しい。通訳の仕事なら自分がお助けします。」という話で別れました。水野様は自分の力、立場では幅広い範囲からいろいろな婦人方を集めることはできないので、名古屋の行政に頼み県庁、教育局、市関係の教育局に頼んでそして集めたらいいのではというアドバイスをミセス・ジョージにしてもらいました。私自身は、何故こんな所に呼び出されたのかと思って不思議だったので聞いてみましたところ、ミスター・ジョージが半年前に東京のヘッドクォーターの教育局のお偉いさんミス・リーが名古屋に来た時、私が英語でお世話をしていたのを聞いて探し出したとのことでした。ミス・リーとは実は主人の兄嫁(基督教大学の英語の講師をしておりました)が、仲が良くて来名するようだったら義妹がいるのでその人にプライベートの世話をし貰いなさいと、そして私にも連絡がありましたので、一週間ご一緒して過したことがございました。英語のできる主婦が、その頃名古屋にはその時少なかった様なので、それで大学の山本助教夫人ということだけで、部門もわからないまま、医学部もあれば文学部等いろいろある中で一生懸命米軍は、すべての名古屋の大学をチェックし私を探し出したようでございます。(占領下の日本であればこそ米軍ができたと思います。)普通だったらとても見つけ出すことはできなかったでしょうし、私もその場に顔を出すようなことはなかったと思います。次の会合ではミセス・ジョージ夫人のお宅で会いました。そこでは水野しのぶ様と二人だけで出席しました。そこには米国人の婦人たちが30人近く確かいらしたと思います。内

容を聞いておりましたら、人前でスピーチ等いろいろなことができるようにお互いにトレーニングをしあい、そして日本婦人との交流とか、親善とか文化交流などの何ひとつ感じることをできない会合だったのです。そして夢にも思ったことのないようなことをなされ、私は肝のつぶれる思いで眺めておりました。水野しのぶ様は私に、何事も親善なのだから静かに様子を見ているようにいわれ、二人で通っていました。

米国婦人たちは熱心であり、表情豊かに自然のかたちで上手に語ることを表わしていました。私は感心のしずめだったのですが、批評に当たる方はとても厳しく、一つ一つそれは厳しく批評し、又それを素直に受け入れ、上手になるように努力をする姿を学びながら、日本女性にできるかしら、又必要かしらと首をかしげながら私は過ごしました。ある日、主人からどんな会合なのかと聞かれましたので、「これこれこう」と説明しましたところ、明治生まれの主人は「フーン、そんな会合なのか、もし自分が若死にをしたらお前にしゃべり殺されたと思わなければならない」と、言われてしまいました。その頃、私はまだ30才でした。主人は70才をすぎまで生きておりましたので、しゃべり殺さなかったようでございます。

占領下で米軍基地内で米国婦人が日本婦人と共に集い出席することは、いろいろなトラブルがあって難しいこともあるらしく、ジョージ夫人はトーストミストレスクラブを国際トーストミストレスクラブとときりかえたり、認可を得たり、申請等したりしててんでこ舞いをして、一生懸命働いていらっしやいました。私は呑気に過しておりますうちに、名古屋の行政の方から日本人のメンバーのリストを揃えて届けて来ました。米国人15名、日本人15名という規約のもとに、場所は丸栄ホテルにときまっておりますので、米国婦人たちはとても喜んでいらっしやって、外に出られるからというのです。何故かといいますと、その頃は米国婦人たちはやたらに許可なく外に出られなかったのです。買物はすべてP・Xできるようにされていました。やはり事故が怖かったのでしょう。日本人側の婦人のリストの内容は県知事夫人、副知事夫人、市長夫人、助役夫人、中部電力社長夫人、日本陶器社長夫人、日本銀行社長夫人とトップレベルの財界の奥様方、そして教授夫人、裁判所調停委員、何やら女史、ラジオ関係、新聞関係のトップのキャリアウーマン、とにかく行政はもう女性のトップ名士ばかりをずらりと集めて提出しました。そのリストは米国空軍司令部に提出して許可を得なければならなかったのです。

戦前戦後、私の父は東京で財界に關係しておりましたので、県知事婦人とか名古屋の財界の奥様の知人のお名前がありましたのでほっとしました。ミセス・ジョージはすっかり戸迷ってしまいました。その時まで私は全然知りませんでした。私が知りましたことはトーストミストレスクラブの米国側のメンバーは、全員空軍の下士官の奥様方だけで創られている集いだったのです。空軍司令部では、日本側のリストを見て、これではバランスがとれないと、いきなり空軍司令官のトップのミセスリン元師夫人、大将夫人、大佐夫人、中佐夫人、少佐夫人、大尉夫人、中尉夫人、米国領事夫人のミセス・ステッグマイヤー、少尉夫人と空軍のトップレディーのリストがこちらに届けられました。とともに日米婦人の合流するクラブを創ってよろしいと許可が降りたのです。米国婦人15名日本婦人15名の為、ミセス・ジョージは涙をのんで、お気の毒に下士官夫人の最下位の位の順から抜けてもらわなければならないことになったのです。そして米国側は、下士官の方は確か2、3人位しか残れないことになったのです。そして1951年に、丸栄ホテルでチャーター式(?)を開くことになりました。私は米国は、デモクラシーであり、平等であると思っていましたのに、そこには厳然たる階級制度があり、空軍婦人達さえまで守られていて、とても厳しいことであることを知りました。下士官婦人たちと将校夫人たちは、ほとんど接触することがない生活のようでした。そしてトーストミストレスの会が開かれましても、米国人側の婦人たちの仲間でもって暗黙のうちに席順があり、来たものがそのままずるずる勝手にそこいらにお座わりになったりするようなことは決してありませんでした。

チャーター式は、米空軍側のお偉いさん達の夫人が一同に集って基地外で初めての出席の為に、いろいろなことを心配をしてM・Pに守られたものものしい式典でした。それは何故かと言いますと、共産党の野坂さん徳球さん達がはなやかに表を飛び廻っている時代でしたからでした。そして米国婦人たちはトップファッション、日本婦人はこんな素晴らしい着物をどうやって戦中戦火をくぐり抜けさせてきたのかしら、と思うような着物ばかりでご出席でした。そして全員、日本人側も米国人側もお互いにすべて初対面で、チャーター式に臨みました。

発足してはじめたのは良かったのですが、トーストミスストレスの内容を何ひとつ知らない人たちだけの集まりとなって、内容は上流社会社交界パーティークラブとなり、華やかそのもので過しておりました。ミセス・ジョージが思っていたトーストとはおよそかけ離れた会合となり、インスタレーションは主人同伴、米国側の軍人の殿方はタキシードにホワイトタイ、御婦人はイヴニングドレス、日本婦人はきらびやかな着物であり、豪華な特別料理、その頃はまだ配給の時代で材料すら集めることが一般の人には難しい時代でした。

しばらくしてミセスジョージは転勤になり、増田はるえ様が入会していらっしやいました。それまでは増田様の御主人が通訳をして下さいましたのですが、増田様の奥様がお入りになると同時に、御自分は退いてしまわれたのでした。心ある人はトーストミスストレスのあり方を嘆いていた人もいらっしやったのですが、なにぶんにも多勢に無勢、どうすることもできないので、ピーチクパーチクとオシャベリ茶会で過していました。そして、それから私は四年目頃には、主人の転勤で関西に行きましたところ、後を追っかけるように名古屋米国領事が関西転勤になり領事夫人と二人が再会をともに喜びあいました。ステッグマイヤー夫人はトーストミスストレスの会が、日本婦人に必要であり、又関西にもそのような会がないので、理想的なトーストミスストレスクラブを開きたい、と、夢と希望をもって、つくるのに努力をお始めになりました。星野富士子さんと私と三人で幅広いメンバーを集め、星野様を中心にして、国際トーストミスストレスクラブを申請、許可してもらい、外国人は国籍を問わず、日本人は幅広い層から参加してもらい、阪神クラブは発足することになりました。

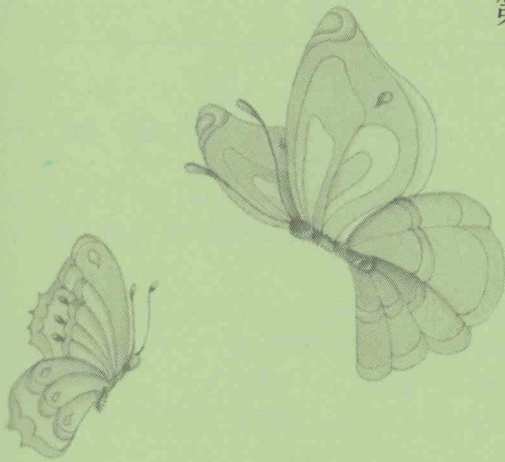
インターナショナルの会なので、米国領事夫人が会長になることは、ちょっとさしさわりがでけるのでと、ステッグマイヤー夫人は、人蓄無害な無力な私を初代会長に推薦して下さい私が初代会長となり、1965年に本式のチャーター式典を行いました。阪神クラブは初めからトーストミスストレス・スピリットで勉強をすすめられたので、すばらしい発展と共にチャーターメンバーの皆様のおかげによって、トーストミスストレスの基礎を作ることができ、全国ITCクラブと広がり、クラブ数も今では沢山できましたし、国際コンベンションではスピーチ等で賞を得るまでの日本婦人の勉強向上発展になって、内容が本物となったので、昔のことを思いますと本当に誇りに思っています。私は関西にまいりましたあと、名古屋では空軍基地は廃止され、外国人がどんどんいなくなり、日本人メンバーとなりました。私としてはそれはとても幸いしたと思います。何故かと言いますと、本来のトーストミスストレスのクラブのあり方を英語と日本語のおできになる新木様のような良いメンバーに恵まれ、勉強と協力によって私が40年前に習ったトーストミスストレスクラブのスピリットを、どんどんと把握していくのを名古屋の皆様のお会合に出席するたびに感じる事ができました。昔を知っておりますだけに、感無量でございます。ミセス・ジョージは現在どうしていらっしやることか、残念なことにわかりませんが、阪神クラブの創設者のミセス・ステッグマイヤーとは連絡がとれていますので、こんなに立派になりました日本のITCを、日本にお招きして見ていただきたいと思ひますし、又我々会員の成長ぶりをほこらしくお見せしたいと胸がいっぱいでございます。

第7回日本リージョン大会

「飛翔」

1989年6月7日・8日

於 名古屋観光ホテル



大会コーディネーター 豊島知子

春もたけなわとなりました。大会も後2ヶ月と迫ってまいりました。登録、食事、宿泊のお申し込みはお済みになりましたでしょうか。申し込み締切日は4月20日です。締切後の追加、取消し、変更はお手数ですが各自で直接、下記の委員長へご連絡くださいますようお願いいたします。

登録：堀内廸子 〒461 名古屋市東区主税町4-10 052-932-4058

食事：田口邦子 〒466 名古屋市昭和区楽園町140 052-831-5638

宿泊：高橋弘子 〒464 名古屋市千種区徳川山町2-8-22 052-763-2692

お一人でも沢山の会員並びにゲストがご出席くださいますようお願いを盛り上げてくださいますようお願い申し上げます。大会の成功することを心より祈っております。

では6月7日・8日、名古屋でお会いいたしましょう！

The Seventh Japan Region Conference in Nagoya

“Flying Butterfly”

on June 7th-8th, 1989

at Nagoya Kanko Hotel

Cordinator, Tomoko Toyoshima

We are now in the midst of spring.

Conference approaches within these two months.

Did you already finish registration, meals, reservation for hotels?

Deadline for application is 20th of April.

For additional application, cancel, and other changes after deadline, please contact the chairman of each committee directly as follows.

Registration : Michiko Horiuchi 〒461 4-10, Chikara-machi, Higashi-ku, Nagoya
tel (052)932-4058

Meals : Kuniko Taguchi 〒466 140 Rakuen-cho, Syowa-ku, Nagoya
tel (052)831-5638

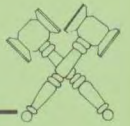
Accommodations : Hiroko Takahashi 〒464 2-8-22 Tokugawayama-cho, Chikusa-ku, Nagoya
tel (052)763-2692

I hope all the members and guests will attend the conference, and then will have a wonderful conference.

I am looking forward to seeing you, in Nagoya on June 7th and 8th.



大会プログラムと教育セッション



リージョン第1副会長 野田 絢子

第7回リージョン大会も後2ヶ月で開催の運びとなりました。今年は日本にITCが設立されて40年目に当たります。今期大会では、それに対応して日本ITC40周年記念晩餐会を計画いたしております。

大会の2日間のプログラムと教育セッションの一覧表が出来ました。今年のワークショップは、かねてより皆様とお約束しておりましたように、ITCの訓練を巾広い分野にわたって、各々の専門的見識者をリーダーにお願い致しました。その準備も着々と進めて頂いております。

2月中に全クラブ宛にワークショップの申込書が送付されています。期日の4月20日迄には必ず着くように、それ以前にお申し込み下さいませ。

皆さまの積極的なご参加を期待いたしております。

CONFERENCE PROGRAM AND EDUCATION SESSION

First Vice President, Ayako Noda

In two short months, the 7th Region Conference shall be convened. It will be the 40th year of the founding of ITC in Japan and we are planning an anniversary banquet to celebrate the occasion.

We have prepared a program covering the two days, along with a development of the educational sessions.

In this year's Workshops, we have as was promised all of you for some time, expended our efforts to secure Workshop Leaders with special knowledge and experience, to cover all the phases of ITC training. Preparations are underway.

Workshop request forms have been mailed to all clubs in February. Please submit your request form in by April 20th at the latest.

Your active participation is invited.

スピーチコンテスト新委員

榎村元子 (葵クラブ) 〒468 名古屋市天白区八事裏山124-15 TEL.052-833-2438

奥田小夜子 (錦クラブ) 〒460 名古屋市中区錦1-4-28 TEL.052-231-5707

第7回日本リージョンプログラム
The Seventh Japan Region Conference Program

6月6日(火) Tues. June 6		名古屋観光ホテル Nagoya Kanko Hotel
9:50～	登 録	Registration
10:00～12:00	リージョンマネージメントトレーニング	Region Management Training
12:00～13:00	昼 食	Luncheon
13:30～16:00	カウンスルマネージメントトレーニング	Council Management Training

6月7日(水) Wed. June 7		名古屋観光ホテル Nagoya Kanko Hotel
9:00～ 9:45	登録受付	Registration
9:00～ 9:50	派遣員への説明	Briefing for Delegates
10:00～	入場、開会式	Opening Ceremony
11:00～	ビジネス	Business
12:00～12:50	昼 食	Luncheon
12:00～12:50	選挙(派遣員のみ)	Election(Delegates only)
13:00～13:20	ITCインフォメーション	ITC Information
13:30～14:25	スピーチコンテスト(英)/選挙結果発表	Speech Contest(English)/Results of Voting
14:40～16:30	教育セッション A) 講演会(外部講師) 3部門 B) ワークショップ 2部門	Education Session A) 3 Workshops(Guest Speakers) B) 2 Workshops
	休 憩	Recess
17:00～17:20 17:30～20:30	登録受付 日本ITC40周年記念晩餐会 役員就任式 余 興	Registration 40th Anniversary Banquet, ITC Japan Installation Entertainment

6月8日(木) Thurs. June 8		名古屋観光ホテル Nagoya Kanko Hotel
9:00～ 9:25	登録受付	Registration
9:30～10:20	ビジネス	Business
10:50～12:30	教育セッション C) ITC副会長ディビジョンⅥによる ワークショップ(日英) D) 講演会(外部講師) 2部門 E) ワークショップ 2部門	Education Session C) Workshop by ITC Vice President Division VI w/Translation D) 2 Workshops(Guest speakers) E) 2 Workshops
12:40～13:40	昼 食	Luncheon
13:50～14:10	表 彰	Awards
14:20～	スピーチコンテスト(日)	Speech Contest(Japanese)
16:00～16:50	報 告 音 楽 閉 会	Announcements Music Adjournment

リージョン大会ワークショップ

リージョン大会ワークショップのご案内をいたします。
 ワークショップの種類はITC訓練の各部門を含むよう選びました。あなたの希望の順位を記入し、
 クラブからまとめて4月20日必着で、リージョン第一副会長 野田絢子にお送り下さい。



ITC日本リージョン大会

ワークショップ一覧表

1989年6月7日(水) 14:40~16:30

A-1	ロバート議事規則 原則と運営 安藤仁介 神戸大学法学部教授 ロバート議事規則監修者	ロバート議事規則の正しい理解。 議事運営法に則しての講義の後、ワークショップ形式で、自由に先生に質問をし、応答をして頂きます。日頃の疑問を何でも質問して下さい。
A-2	陶磁器の目から見た世界 佐伯進 ノリタケカンパニーリミテド社長	世界の文化交流によって発展した世界陶磁器の歴史を振り返りながらノリタケが果たした明治中期よりの日本磁器、洋食器発展経緯をたどると共に、滞米17年を含む陶磁器販売の経験を通じて得た「日本国際化のあり方について一考察」のお話を伺います。
A-3	変わりつつある女性と法律 -国連女子差別撤廃条約委員会に出席して- 大脇雅子 弁護士・法政大学講師	一見関係無いように見えて私達女性と法律は大きくかかわっています。教科書の中に見られる性差別、夫婦別姓、無因離婚、老人の再婚問題など、大きく変わりつつある世界のお話を聞きましょう。
B-1	議事法のABC -The ABC's of Parliary Procedure- 小林章子(鳥取クラブ)	多くの人が集まって、意志を決定するのに必要な議事法は、長い歳月かけて作られてきた共通のルールです。難しそうな議事法の基礎を、クイズやスキットやゲーム等をして理解を深めましょう。
B-2	プログラム作り -Programming- 稲田礼子(奈良クラブ)	プログラム作りを楽しみませんか?経験のある方、ない方—あなたのセンスを活かしたあなたらしいプログラム。個性あるプログラムの—工夫で楽しいものに!3人寄れば文殊の知恵、さてそれ以上寄ればきっとすばらしいプログラムが。

1989年6月8日(木) 10:50~12:30

C	特別ワークショップ(日英) -Verbal Communication- Ruby Moon (ITC V.P. Div. VI)	どんなグループにでも向くスピーチの組み立て方。 What questions need to be asked? 望ましい劇的效果を聞き手に与えるには、どんなことを心がければ良いでしょうか?(通訳つき)
D-1	国際誤解の起こらぬように -コミュニケーションの面白さ- 堀内守 名古屋大学教育学部教授	目の動き—表情とか体の動き—しぐさ。 こういうものに支えられてコミュニケーションは行われます。 これをNon Verbal Communicationと申します。
D-2	朗読研修 声に出してみるってどんなこと? 五木寛之と一緒に読みましょう 池田和佳子 社会教育センター講師	基礎的な朗読の訓練(母音の無声化、鼻濁音、活舌等)を通して日常すぐに役に立つ技術を身につけましょう。応用として“冬のひまわり”五木寛之から等の抜粋を実際に読んでみましょう。
E-1	ディスカッション形態 Patterns of Discussion 桑原美紀子 (ひろしまクラブ)	よく日本人はディスカッションが苦手な民族と言われています。ディスカッションにはフォーラム、グループディスカッション、ラウンドテーブルディスカッション、パネルディスカッション、ディベートなどがありますが、それらの違いを学びながら、実際に行ってみませんか?
E-2	ワークショップリーダー Workshop Leader 松下えん (東京クラブ)	ワークショップとは何でしょう。どうして大切なのでしょうか。ワークショップの基本的な特徴とは?ワークショップの計画・準備を実行する時のリーダーの心得などを研修しましょう。

ワークショップ券は大会当日キットに入れてお渡し致します。
 人数の都合で希望のワークショップに出席出来ない場合もありますので、ご了承下さい。
 ご面倒ながらクラブでこの用紙を会員分コピーしてください。
 返送先: 〒665 宝塚市武庫山2-1-32 ☎0797-72-3800 野田絢子 申し込み締め切り日: 4月20日

Workshop Program

June 7 (Wed.) 1989 14:40-16:30

A-1	Robert Rules of Parliamentary Order RULES & PROCEDURES Nisuke Ando Professor:Kobe University	Gain a sound and clear perception of the Roberts Rules of Order by listening to the lecture and by submitting questions in a Workshop format.
A-2	The World From Viewpoint of Ceramics & Pottery Susumu Saeki President:Noritake Company LTD	Based upon experience the speaker tells us "What to seek for in the internationalization of Japan". Founded upon the history of cultural cross-exchanges which created our heritage of ceramic aesthetics, and the efforts of Noritake for close to a century to apply Japanese ceramic technologies to western tableware.
A-3	Change In The Status Of Women And The Law From Attendance Of The UN Treaty For Removal Of Discrimination Against Women Masako Ohwaki:Attorney Lecturer:Hosei University	Based upon her involvement in the UN Treaty for the Eradication of Discrimination against Women, the speaker tells us about the tremendous changes in the relationship between women and the Law.
B-1	The ABC's of Parliamentary Procedure Akiko Kobayashi (Tottori)	We develop a deep understanding of the fundamentals of parliamentary procedure through quizzes, skits and games.
B-2	Programming Reiko Inada (Nara)	With a little effort, programs which are enjoyable and exciting because your best are brought out, can be developed. "Two heads are better than one" If more than two can be brought together, one can hope for a wonderful program, with experience or even without.

June 8 (Thurs) 1989 10:50-12:30

C	Special Workshop Verbal Communication Ruby Moon ITC V.P., Div. VI	How to prepare a speech to any kind of group. What questions need to be asked? How to prepare for the correct kind of impact on your audience.
D-1	How to Avoid International Misunderstandings -The Fun of Communicating- Mamoru Horiuchi Professor:Nagoya Univ. Dept. of Culture	Eye Movements..Expression, Body Action..Gestures.. Communication is carried out with the support of these. We refer to them as Non-Verbal Communications.
D-2	A Study of Reading Aloud What voicing the sounds can mean? Let us read Hiroyuki Itsuki together. Wakako Ikeda Instructor:Social Educational Center	Training in the basics of reading. (Inarticulation of Vowels, Nasal Voiced Sounds, Activated Tongue Action et.al.) and through this, acquire technicalities which can be readily applied to every day use. To apply these in practice, we read aloud excerpts from Hiroyuki Itsuki's "Winter Sunflower".
E-1	Patterns of Discussion Mikiko Kuwahara (Hiroshima)	They say the Japanese are a race who find it difficult to engage in discussion. In discussions,there are Forums, Group Discussions, Round Table Discussions, Panel Discussions, Debates.... We want to analyze the differences and also to practice them.
E-2	Workshop Leader En Matsushita (Tokyo)	What is a workshop? Why is it so important? What are the basic features of a workshop. We want to study what the leader should bear in mind when she prepares for the planning/preparation of bringing a workshop into existence.

リージョン派遣員と代理人

Delegates and Alternates to the Japan Region

クラブ名	Club Name	派遣員	Delegate	代理人	Alternate
安芸	Aki	西川 静子	Shizuko Nishiyama	横山 泰子	Yasuko Yokoyama
尼崎	Amagasaki	川添 厚美	Atsumi Kawazoe	萩野 智恵子	Chieko Ogino
葵	Aoi	梶浦 清子	Kiyoko Kajiuira	柴田 陽子	Yoko Shibata
青山	Aoyama	小三 林登子	Ito Kobayashi	山本 光子	Mitsuko Yamamoto
芦屋	Ashiya	久保 嘉節子	Yoshiko Miyake	園田 容弓子	Yoko Sonoda
神戸	East Kobe	羽尾 則子	Noriko Hao	渡辺 和子	Yumiko Watanabe
福山	Fukuyama	児玉 明美子	Akemi Kodama	土居 照子	Kazuko Doi
浜松	Hamamatsu	南陽 京子	Kyoko Nanyo	加藤 弘子	Terue Kato
阪神	Hanshin	杉田 喜久子	Kikuko Sugita	小山 須奈美	Hiroko Ono
平安	Heian	城山 博子	Hiroko Shiroyama	山本 須奈美	Sunami Yamamoto
東山	Higashiyama	棚橋 千珠子	Chizuko Tanahashi	レイビージュディ	Judy Raby
姫路	Himeji	沢田 郁子	Kaori Sawada	山田 八寿子	Yasuko Yamada
ひろしま	Hiroshima	川 迪子	Michiko Minagawa	大谷 清裕子	Kiyoko Otani
北摂	Hokusetsu	井由 美子	Yumiko Nagai	大吉 岡裕子	Hiroko Yoshioka
関西	Kansai	杉山 満佐子	Masako Sugiyama	外林 公江子	Kimie Sotobayashi
柏	Kashiwa	渡辺 時律子	Tokiko Watanabe	炭本 野文子	Fumiko Sumimoto
北大阪	Kitaosaka	井戸 端多栄子	Ritsuko Idobata	中柳 洋子	Yobko Nakano
神戸	Kobe	日市 屋多栄子	Taeko Yokaichiya	川村 治子	Yumiko Yanagawa
甲南	Konan	武内 浩子	Hiroko Takeuchi	白澤 久子	Haruko Usamura
倉吉	Kurayoshi	中本 みゆき	Miyuki Nakamoto	長西 谷睦子	Hisako Nagasawa
京都	Kyoto	前川 栄子	Eiko Maekawa	西岡 真規子	Mutsuko Nishitani
九州	Kyushu	山本 惠美子	Emi Yamamoto	阿倍 瑠璃子	Makiko Oka
舞子	Maiko	田邊 和子	Kazuko Tanabe	末包 敏子	Ruriko Abe
松江	Matue	川上 富美子	Fumiko Kawakami	澄田 邦江子	Toshiko Suekane
名城	Meijo	島本 佐江子	Saeko Shimamoto	田喜 一代子	Kunie Sumita
南大阪	Minamiosaka	端野 美智子	Hisako Higashino	林下 村支子	Kiyoko Hayashi
都	Miyako	澤田 禮子	Reiko Sawada	多田 美智子	Kazue Shimomura
名古屋	Nagoya	亀山 千里子	Chisato Kameyama	田中 あさ子	Michiko Tada
奈良	Nara	川崎 瑶静子	Yuko Kawasaki	山野 逸子	Asako Tanaka
錦	Nishiki	齊藤 静香	Shizuka Saito	竹内 汎子	Itsuko Yamano
西宮	Nishinomiya	***		仁熊 愛子	Hiroko Takeuchi
大分	Oita	和田 晴子	Haruko Wada	佐山 昌子	Aiko Nikuma
岡山	Okayama	中野 輝昭子	Teruko Nakano	藤村 泰子	Masako Sayama
大阪	Osaka	村田 昭子	Akiko Murata	伊地知 香代子	Yasuko Fujimura
六甲	Rokko	河津 百合子	Yuri Kawatsu	力石 初枝	Kayoko Ijichi
栄	Sakae	鈴木 みつ子	Mitsuko Suzuki	都間 和子	Hatsue Chikaraishi
サタデー	Saturday	福岡 妙子	Taeko Fukuoka	都間 和子	Kazuko Tsuma
城北	Sirokita	福島 洋子	Hiroshi Yajima	柏原 代子	Haruyo Kashihara
サンデー	Sunday	角田 友子	Tomoko Kakuta	川よ り子	Yoriko Yamakawa
宝塚	Takarazuka	康田 洋子	Yoko Yasuda	堀 容子	Youko Hori
東京	Tokatsu	桜井 慶子	Keiko Sakurai	松尾 はるみ	Harumi Matsuo
東京	Tokyo	深澤 志津子	Shizuko Fukazawa	永井 真澄子	Masumi Nagai
鳥取	Tottori	藤井 和子	Kazuko Fujii	滝田 紘子	Hiroko Takita
豊中	Toyonaka	武政 千子	Yukiko Takemasa	村田 照子	Teruko Murata
筑波	Tsukuba	川取 イサ子	Isako Kawatori	早瀬 好子	Yoshiko Hayase
梅田	Umeda	井本 登志子	Toshiko Imoto	中福 島翠	Yuko Nakamura
米	Yonago				Midori Fukushima

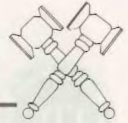
来るリージョン大会に、クラブ代表として派遣員及び代理人に選ばれた会員の方々はどうぞ下記の任務をよくご理解の上、ご出席下さるようお願いいたします。

- (1)大会当日は、午前8時45分までに派遣員室へ委任状書式を持って登録しサインする事。
- (2)2日目も9時20分までに必ず受付に出席を登録すること。
- (3)リージョン会則をよく読み、修正案が出されている場合は、各自クラブの意見をしっかり持って出席すること。
- (4)動議の提案、討論時の発言、修正案提出、採決に対する意志表示等の方法をよく心得てビジネスの進行に協力すること。
- (5)ビジネスの決議事項は勿論、プログラムの内容、大会の雰囲気クラブへ報告すること。

派遣員資格認証委員長 常田道子



ITCコンベンション・ラスベガス大会参加者募集のお知らせ



リージョン国際交流委員長 堀江祐子

「第48回ITCコンベンション・バリーズ・ラスベガス大会」が1989年7月17日から7月20日までアメリカ・ネバダ州・ラスベガスで開催されます。会場は世界的に有名なバリーズ・ラスベガスホテルです。日本リージョンからもこの大会への参加希望者を募集しています。

7月16日夜の歓迎パーティでは、同ホテルが歓迎の意味を込めて30分のミュージカルショーを見せてくれますし、その他にもフーバーダム、レイク・ミード、レッドロック・キャニオン、マウント・チャールストンへのツアーや、チョコレート工場や美術館、博物館見学など、多彩な観光プログラムも用意されています。大会日程は下記の通りです。ご参照の上多くの方々が参加されます様希望いたします。

予備登録希望者メ切り 1989年5月31日
申込先：堀江祐子 〒164 東京都中野区弥生町6-5-3-903
TEL 03-384-7687

1989年コンベンション一覧表

7月15日(土)	7月16日(日)	7月17日(月)	7月18日(火)	7月19日(水)	7月20日(木)
	8:00AM.~8:00PM. 登録・販売 8:30AM.~5:30PM. リージョン・マネジメント・トレーニング 9:00~11:11AM. トレーニング・セッションズ	7:30AM.~1:00PM. 6:00PM.~7:00PM. 登録 8:30~10:00AM. 「あなたはいつかITCの役員になりますか？」 10:00~12:00noon デリゲートのブリーフィング	7:00~8:00AM. 11:00~12:00noon 登録 8:30~10:30AM. ビジネス 10:45~12:00noon 選挙	7:00~8:00AM. 登録・販売 8:30~10:30AM. ビジネス 10:45AM.~12:30PM. コミュニケーションダイナミクス 11:00AM.~12:30PM. トレーニング・セッションズ	7:00~8:00AM. 登録・販売 8:00~10:00AM. ビジネス 10:30~12:00noon トレーニング・セッションズ
12:00noon~5:00PM. 7:30PM.~9:30PM. 登録・販売	1:00~6:00PM. コミュニケーションダイナミクス	2:00~4:00PM. 公式の開会 4:30~6:00PM. 候補者会合	12:30~2:30PM. ランチ 3:00~5:00PM. トレーニング・セッションズ 3:00~6:00PM. コミュニケーションダイナミクス	1:00~3:00PM. ランチ 3:30~5:30PM. 総会	12:30~2:00PM. ランチ 3:00~5:00PM. 総会
		7:30~9:30PM. スピーチコンテストの予選	7:00~10:30PM. スピーチコンテスト決勝と宴会	自由行動	6:00~7:00PM. 社交時間 7:00~10:00PM. 就任式晩餐会 10:15PM.~ 役員のレセプション

登録・販売ルームは公式行事の開催中は開かれていません。

ITCコミュニケーター Jan/Feb 1989. Vol.4 No.3 P.13より



増設委員会より From the Extension Committee



リージョン増設委員長 鈴木みつ子

平成元年を迎えて今期もあと3ヶ月余りになりました。昭和と平成の2つの元号にかけて各カウンスル増設委員長は確実に活動を続けて居ります。カウンスルNo.1は、リージョン会長の御示唆により男性を含む有職の方々から初の例会を希望していらっしゃる事を知り説明会開催の呼びかけをしたところ人数の都合で3月に延期致しました。カウンスルNo.2は、バイリンガルのクラブ設立のため非常に活発に尽力中で平成元年中にチャーターに持ち込み高い意欲で一杯です。カウンスルNo.3は、増設活動の意識高揚のためアンケートを作成、メンバーの反応を検討中です。カウンスルNo.4は、九州に1クラブ設立されますとカウンスルが結成できますので、地域的にも便利にもなりますからリージョンより働きかけましたところ新設大分クラブで手一杯の為充分ゆとりがなく一先ず見送る事になりました。カウンスルNo.5は、千里、吹田方面に1クラブ設立の兆しがあり第1回説明会を開催しました。カウンスルNo.6は、昭和63年11月にサタデークラブ誕生、最近フルメンバーになり着実に成果をあげて居ります。又大津方面に1クラブ設立したい希望を持って居ります。カウンスルNo.7は、米子、境港の各地に1クラブずつ結成され、5月には認証式典が挙行される予定です。その為に着実に準備をすすめて居ります。今期、すでに50クラブの目標が達成出来ることは、この上ない喜びであります。50クラブ達成の御報告が出来る嬉しいニュースでこの拙文を終りたいと思います。

会員の皆様にお願ひ

カウンスルNo.2増設委員会は、阪神、神戸付近にバイリンガルクラブを平成元年中に新設の予定です。近辺にお住まいのお知合い、友人、御姉妹等お一人でも多くぜひ御紹介ください。

連絡先 カウンスルNo.2増設委員長

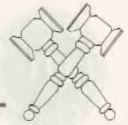
後藤 蓉子

芦屋市岩園町35-37

TEL0797-31-4133

The Chairman of Extension committee of council NO2
Yoko Goto asks all members.

Please introduce your acquaintances, friend or sisters
as a new members in a new bilingual club which extension
committee is planing to make in this year 1989 in
Kobe area.



リージョン朗読研修委員長 山崎 眞知

リージョンの呼びかけで、暗中模索ながらも意気に燃えて始めました「朗読研修」も4年目をむかえました。今までの東京、名古屋、阪神の各地区での研修に加え、今期より山陽、山陰両地区でも研修を始めました。この両地区を加え7つのグループが独自の方法で研修を行っております。

1. 東京地区：約10名のメンバーが月1回ボランティアを実践中のメンバーを講師に詩、小説、新聞、統計など各種の表の読み方そして“英語の論文”の吹き込みなど、広いジャンルを熱心に、楽しく研修を行っております。また、この地区の新しくチャーターしたクラブを主に対象として講師、委員の御尽力により新しいグループが1つ2月より仲間入り致しました。
2. 名古屋地区：約20名のメンバーが月1回外部より講師をお招きし、「基礎の見直しと、文学作品」を今期の目標に研修を行っております。と同時に前期より引き続き“老人医療専門病院”への朗読奉仕を「社会還元」の一貫として行っております。研修プラス病院訪問、その上に本の選択や練習など相当な時間及び労力をかけております。実際に社会へ出てみますといういろいろ考えていた以上の問題にぶつかり、多くの勉強を致しております。
3. 阪神地区：この地区には、前期の初めからリージョンの手をはなれ自主的に研修を行っているグループが1つと、そのあとを受けてできた新しいグループ1つと合わせて2つがそれぞれ別の講師の下で研修を行っております。前者のグループの中の数名が講師のお力添えをいただき、A市の「朗読ボランティアグループ」に加入し活躍を始めております。後者のグループは、約50名のメンバーが月1回、専門家(ITCのメンバー)の講師を囲み基礎から始めております。一度に50名を対象に研修を行うことは並大抵のことではありません。にも拘わらず講師、委員の御尽力により充実したものとなっております。
メンバーが集まることにより、本来の目的である朗読研修のみにとどまらず、より良いコミュニケーションがはかられプラスアルファの効果があがっております。この地区は4つのカウンスルが集まっており、その壁をとりはらって研修を行うことによりプラスアルファの効果があがっております。
4. 山陽地区：約25名が専門家(ITCメンバー)を講師に月1回の研修を始めております。基礎を大切にしながらも、いろいろ趣向を凝らし、楽しい研修会を持っております。カウンスルNo.4のニューズレターに早速掲載され、遠方のクラブへのよい広報となりました。
5. 山陰地方：約30名が専門家(ITCメンバー)を講師に2か月に1回の割りで、基礎から無理のないように充分注意しながら、また阪神地区の研修生をゲストにむかえたり、楽しく研修を続けております。

以上が各地区の研修状況です。山陽、山陰両地区共に、クラブ相互間に相当の距離があり、研修会に集まる為には時間、交通費等の問題を抱えながらも、講師、委員そしてメンバーに支えられて根付きつつあります。

それぞれのグループが、ボランティア経験者、アナウンサー、タレント等いろいろな分野の講師を中心にそれぞれ個性あふれる研修を行っております。そのうちにきっと大きな成果が表われてくることでしょう。このように、現在150名以上のメンバーが朗読研修に拘わっております。またいくつかのカウンスル例会、クラブ例会で「朗読」が取り上げられ認識も日増しに高まってきております。リージョンの長期目標である「社会還元」に近づきつつあるように見えます。しかし一口に「社会還元」と申しましても実際は大変な事で、奉仕“する側”“される側”双方にそれぞれの都合がある。それを“する側”がよほど理解した上でなければ軽々しくできないと思います。また還元する「社会」を広い意味でとらえ、しっかりとしたビジョンを持ち、“その日”の為に計画的に研修会を持ちたいと存じます。どうぞ皆様の暖かい御理解と御協力をお願い申し上げます。



日本リージョン事務局基金について



リージョン基金委員長 三宮 晶子

事務局基金につきましては多くの会員の皆様からご賛同を得、心より感謝申し上げます。
現在暫定事務局では次の様な仕事を行っております。

- 教育資料やマガジンの翻訳
- 翻訳された教育資料の出版
- 資料の管理、販売
- 本部への年会費と物品注文の送金と手続き
- 新入会員の諸手続き、送金など

日本のITCは目覚ましい成長を続けています。すべての資料が英語というこの教育機関が、日本でここまで発展してきたのは次々と教育資料が翻訳されるようになってからのことです。私たちの殆どの会員はこの翻訳の恩恵を受けています。又本部への申込みや送金などの手続きがITC特別会計によって簡単になり費用も少なくてすむようになりました。

これらの仕事は、現在多くの会員のボランティアに頼っていますが、会員が増え組織が大きくなりますと、とても今の状態を続けることはできませんし、一部の方ばかり負担をかけるわけにはいけないと思います。有給の職員を頼まなければならないと思います。会の事務所は鈴木会長のご好意で安い部屋代でお借りできていますが、2年契約になっていますので、その先のことを考えねばなりません。事務所を持ち事務局を運営するにはそれなりの費用がかかります。

どうぞ以上のことをご理解下さいまして引き続き皆様のご協力を頂きます様よろしくお願い申し上げます。

基金の窓口はリージョン大会終了までオープンさせて頂きますので各委員又は私迄お申し出下さいませ。

日本リージョン事務局積立金へのご寄付ご芳名

鈴木 鋼一	10,000円				
尚美堂	時計				
No.1		No.2		No.4	No.6
名古屋クラブ		阪神クラブ		岡山クラブ	京都クラブ
鈴木 宏子	10,000円	広瀬 忠子	5,000円	黒住千鶴子	10,000円
新木 昌子	5,000円	菊池 悦子	〃	No.5	野村美智子
八代ふゆ子	〃	伊庭 文子	〃	大阪クラブ	常田 道子
村上 令子	〃	横山 幸子	〃	木下あつ子	5,000円
鶴飼恵津子	〃	野田 絢子	〃	早川 住江	〃
高柳 恭子	〃	三宮 晶子	〃		平安クラブ
盛田 純子	〃	No.3			続木 智子
沢田 礼子	〃	関西クラブ			伊東 貴久
錦クラブ		上島 晴美	6,000円		安達 寿子
石川 好子	5,000円	江藤万里子	5,000円		都クラブ
竹内 汎子	〃	井出 智美	〃		藤原 文子
平瀬 暢子	〃	竹内 熙子	〃		5,000円
飯沼佐智子	〃	三宅 梢	〃		サタデークラブ
堀内 迪子	〃	芦屋クラブ			都間 和子
栄クラブ		白江圭穎子	5,000円		5,000円
芦原 明子	5,000円				No.7
					鳥取クラブ
					西尾瑠璃子
					5,000円

日本リージョン事務局積立基金募集の標語 最優秀作品発表

リージョン広報委員長 平瀬 暢子

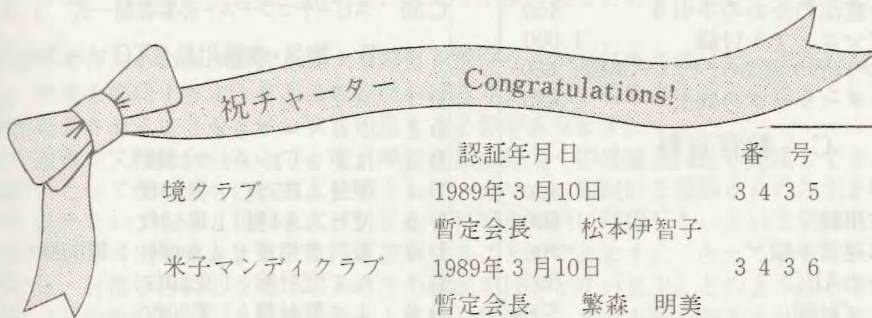
事務局積立基金募集の標語にはたくさんの方がお寄せ下さいまして有難うございました。188の標語が集まりました。日本リージョン暫定事務局長の新木昌子さん、基金委員長の三宮晶子さん、リージョン広報委員(3名)計5名で一人30首を選んで投票いたしました。その結果4票以上を獲得した標語が7つあり、その中から更に3つをリージョン役員の方々に選んでいただきました。

最優秀作品は次の3名の方でいらっしゃいます。この3名の方々はリージョン大会で表彰されます。

- 1位 阪神クラブ役員会
“みんなの力でみんなの事務局”
- 2位 米子クラブ 後藤美恵子さん
“コミュニケーションの輪と和で築こう事務局を”
- 3位 名古屋クラブ 盛田純子さん
“小さな寄金で大きな夢を”

佳 作

- 米子クラブ 野津寛美さん
“広がり広がれ基金の輪”
- 大阪クラブ 城本 都さん
“ささやかな投資大きな実のり”
- 葵クラブボード
“にこにこ笑顔で作ろうみんなの事務局”
- 浜松クラブ 鈴木千恵子さん
“呼びかけよう広げよう500円基金の輪”



	認証年月日	番 号
境クラブ	1989年3月10日	3 4 3 5
	暫定会長 松本伊智子	
米子マンディクラブ	1989年3月10日	3 4 3 6
	暫定会長 繁森 明美	

認証状授与式

日 時 1989年5月12日(金) AM.10:30~PM.2:00
場 所 境港 マリーナホテル
カウンスルNo.7 増設委員長 坂口 律子

日本リージョン資料一覧表
List of Educational Materials

ITC……本部資料番号

J R……リージョン資料番号

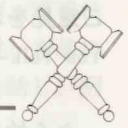
1989. 1. 25資料役員

品番		単価	品番		単価
ITC	J R	(円)	ITC	J R	(円)
A 会 則					
★ 201	A 1	250	514	C 19	300
★ 202	A 2	250		C 20	100
203	A 3	250	515	C 21	200
	A3-a	250			
○ 204	A 4	350	522	C 22	300
			530	C 23	100
B 参考資料					
★ 101	B 1	1,000	533	C 24	250
118	B 2	2,000	562	C 25	250
★ 102	B 3	1,000	569	C 26	100
120	B 5	650	572	C 27	200
108	B 6	200	558	C 28	500
110	B 7	500	538	C 29	250
123	B 8	700	508	C 30	300
★ 129	B 9	1,000	549	C 31	300
○	B 10	250	585	C 32	200
103	B 11	200	579	C 33	200
112	B 13	800	583	C 34	300
113	B 14	500	586	C 35	300
117	B 15	1,200	557	C 36	300
★ 125	B 16	1,200	371	C 37	500
126	B 17	800			
111	B 18	400	505	C 38	500
	B 19	1,000		C 39	1,000
124	B 20	650	D 物品・事務用品(ITCマーク入り)		
122	B 21	650	D 1		700
C 教育資料					
★ 519	C 1	100	D 2		350
	C 2	500	D 3		100
○ 527	C 3	700	D 4		300
★ 503	C 4	300	D 5		600
★ 510	C 5	500	D 6		300
511	C 6	250	D 7		200
516	C 7	300	D 8		200
536	C 8	250	D 9		200
526	C 12	300	D 11		200
542	C 13	250	D 12		200
567	C 14	250	D 13		300
556	C 15	300			
547	C 16	250			
★ 545	C 17	300			
514-A	C 18	200			

○印は新しく出来た資料です。 ★印は改訂された資料です。



ITC コミュニケーターより From "ITC COMMUNICATOR"



(Vol.4 No.2 November / December 1988)

質の向上をめざして

Accent On Excellence p.10

By Muriel Bryant

私たちのスピーチを古い考えの墓場ではなく新しい考えを生み出す場となるようにしましょう。「あのスピーチはとても良かったけれど、一体あの人は何が言いたかったのかしら？」こんな声をこれまでに幾度となく聞きました。今年のスピーチコンテストでは、このようなことのないようにしましょう。

「どんな話をしたかではなく、どういうふうにしたかが重要なのです。」という古い諺を信じないで下さい。熱狂的支持者を煽りたて盲目的信奉心を利用しようとするカストロの絶叫調(子)の演説ならいざ知らず、ITCの発表の場においては絶対にそのようなことはありません。クラブレベルから始まり国際レベルに至るどの(段階の)スピーチコンテストにおいても、質の向上をめざしましょう。私たちが行うスピーチには、必ずその意義と目的とがあります。ところが、そのスピーチが言葉の羅列に終わってしまう場合があまりに多いのです。スピーチの目的とは、スピーチを意味づけるものです。

今日の世界は、男女を問わず効果的に話ができる人を求めています。効果的なスピーチをすることによって、私たちが世界のリーダーたちの求めていること、すなわち私たちのレベルを超える道理になかった目的を押し進めることができます。あなた達が博識でしかも思慮深い人で、はっきりと確信を持って話をすれば、この世で力を合わせて事を運ぶということも可能になるのです。

あなた達自身が自分達の時代の歴史を綴る手助けをすることもできます。何か言いたいことがあれば、そのことを真剣に情熱をこめ、自身をもって話すことです。そうすれば聴衆を納得させ感動させることでしょう。私たちの身近なまわりにも、卒直に話すということが威力を発揮した実例がたくさんあります。現在でも話し言葉は種々様々あるコミュニケーションのなかでも、最も強力な要素と認められています。

知識を増やし、視野を広げ、見通しをよくたて、独創的な考えを呼び起こさせるような題目を選びましょう。

スピーチのアイデアを探し始めるにあたっては、あなたのイマジネーションと常識とを働かせましょう。

熟思熟考のために多少調査を要する題目を選びなさい。私たちのスピーチはおもしろくて、役に立ち、聴衆を啓発するようなものでなければなりません。聴衆の注意を引こうとしているのなら、興味をを起こさせるようなトピックを用意する必要があります。

この複雑な文明社会のもので、電子頭脳を始め数多くの機械(装置)が発達してきましたが、創造的思考にとって代わるものは未だ発明されていません。独創的な頭脳からのみ生まれてきます。もっと読みたい、もっと視野を広げ、芸術や科学を知的に把握したいという気持ちがあれば、社会や国家や世界の出来事をより広く深く理解することができます。

ITCは、目標と目的とを掲げておりその達成を目ざしています。どのようにしてそのゴールに到達するかを計画したり、その出来映えと成果を評価し、その方法を向上させ、そのビジョンを実現させるのに必要な財源を得るために多くの時間が費やされます。全会員はめいめい自分たちのアイデアや理想を決定する完全な自由を持たねばならないことを自覚すると同時に、尚、且つITCのレベルを維持するために、ITCの組織は、各会員が自己分析や自己評価をし、その真価を問うことを促しています。私たちは質の向上を目ざさなければなりません。

深く考えることを学んで自分自身を的確に表現することは、話すという手段であなたの信念を伝える一つの絶好の機会にできます。私たちのスピーチを、古い考えの墓場ではなく、新しい考えを生み出す場となるようにしましょう。

注：この記事は最初、ミュリエル・ブライアントさんがITCスピーチコンテストの委員長を務められていた1961年に発表されました。当時同様、今日にも当てはめられることです。

田中三千子訳 (筑波クラブ)

ご意見をお聞かせ下さい。

You Talk-We'll Listen p.11

Ruth Lamb 6347 S.E. Scott Drive,
Portland, Oregon 97215 U.S.A.

さあ始めましょう!

●日本リージョンからの質問-前回の世界大会で配られたアンケート調査の結果に興味をもちました。この調査はいつ行なわれたのですか。参加会員数と解答数はどれほどですか。

答え-アンケートは「コミュニケーター」誌1986年7-8月号に掲載されました。全会員への呼びかけに、12,600の解答が寄せられました。結果報告書は去年7月、世界大会のビジネス時に出席者に配られました。日本リージョンからの出席者が、この報告書をお持ちのはずです。もし手に入らない場合は、私の手元に余分がありますので喜んで送らせていただきます。日本リージョンで翻訳なされば、皆さんでお読みになれるでしょう。

このデータが会員の皆様のお役に立てれば、役員、委員ともこれほど嬉しいことはありません。ぜひクラブ、カウンスルでとりあげてみて下さい。その結果お尋ねになりたいことがあれば、このコラムをご利用下さい。このコラムも今回のアンケートへの解答の中から生まれたものなのです。新しい委員会「リサーチ・アンド・ディベロップメント(調査・発展)」が、アンケートの解答者の提案を検討し、今期の終わりに役員会へ最終提案を提出する予定です。ぜひ全会員の皆さんがこの価値あるアンケート報告書をご覧になり、ご検討下さるようお願いいたします。この報告書はリサーチ委員会の方々の長時間にわたる努力の賜物であり、きっと私たちのより良い組織づくりに役立ってくれることでしょう。世界大会に出席された会員の皆さん、是非、あなたのリージョンでこの報告書をご活用下さい。

●パシフィック・ノースウェスト・リージョンからの質問-私たちの名を広く知ってもらうために、なぜ全国的な広告キャンペーンをしないのですか。私たちの新しい名で、私たちの活動内容をすぐにわかってもらうのは大変です。私は「以前はトーストミストレスだったのです」と説明しています。

答え-多くの会員から同じ質問を寄せられています。私たちの名を知ってもらうのに、広く広告キャンペーンを行なうのも良いかもしれませんが、それにはいくつか問題点があります。

1. 私たちの組織は国際的であるため、「全国的なキャンペーン」は、クラブのあるすべての国で行うことになります。壮大な計画ですね。

2. 全国規模の広告は、私たちの想像以上にお金のかかるものです。例えばアメリカの全国版の雑誌に一回、 $\frac{1}{8}$ ページ分の広告を出した場合、\$17,000(※訳者注 約220万円)かかります。車やコーンフレックなどのテレビ広告には何百万、何千万ドルもの予算が充てられます。私たちは非営利団体であり、そのようなお金を持ちません。

3. 2、3年前ITC役員会は広告会社に頼んで、アメリカの五つの地域で「リーダーズ・ダイジェスト」誌とテレビにスポット広告を出しました。この試みは莫大なコストがかかったにもかかわらず、収穫はほとんどゼロでした。

以上のことを消極的にお受けとめにならないで下さい。何ができ、何ができないかを知ることが大切です。会員数が増え、いつか私たちの会費で十分に国際的広告がまかなえることを望みましょう。しかし現実的にはそれは近い将来のことではありません。

個人的な意見を申し上げますと、「私たちは以前はトーストミストレスだったのです」というのは、あなたの意図とは逆の効果を生むことになると思います。「ITC」が使われるようになって3年、名前の改正案が通ってから4年たちました。「私たちは以前…」と言い続けていたら、いつまでも私たちの新しい名を広く知ってはもらえないでしょう。最近ある地方銀行が名前を変えました。以後そこは新しい名を名乗り、どの書類にも「旧…銀行」というつけたしはありませんでした。私たちのITCへの情熱は必ず伝わります。以前何であったかを言う必要はないのではないのでしょうか。「今」が問

われるのです。最近の調査によると、北アメリカの77%、北アメリカ以外の65%の会員が、ITCについて、友人、同僚、親類から知るようになったそうです。私たちの最良の広告は、一対一を基にしており、そこに弁解も間に合わせの言葉もありません。あなたがITCから何を得たかを話し、例会に誘いましょう。必ず効果があります！

●ゴールデン・ウェスト・リージョンからの質問—インターナショナル・レベルのスピーチコンテストは必要でしょうか。なぜリージョン・レベルで満足してはいけないのですか。

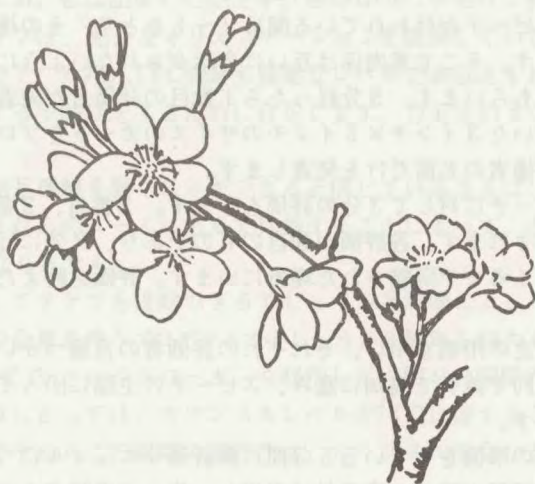
答え—そうですね。私のみる所では、この問題は会員からいろいろ論議を呼びそうです。なぜなら、あなたがスピーチコンテストについてどのようにお感じになるにしろ、コンテストの行われる例会は、各レベルとも一年で最も出席率が高いのもまた事実だからです。会員の多くはコンテストを好んでいる、と言えそうです。

世界大会について、この場をお借りして個人的な意見を申し添えますと、私たちは大会への優先的出席者を考える必要があると思います。オーランドでの大会では、スピーチコンテストの出席者数が27名である一方、次期リージョン会長の出席者数は、わずか17名でした。コンテストのほとんどは、各リージョンからの派遣援助を受けています。リージョン役員にも同じ様にすべきではないでしょうか。各リージョンともコンテストへの援助をやりくりするのですが、世界大会でのリージョン役員研修への援助を行なっているところはほとんどありません。この点をあなたのお考えいただき、今年ラスベガスでの大会に、コンテストと共に役員を派遣援助できないか、ご検討いただけないでしょうか。

たぶん私は、インターナショナル・レベルでのスピーチコンテストの廃止をお話しするのにふさわしい者ではないでしょう。私はこのコンテストが好きなのです。しかし誰もが私と同じ気持ちではないでしょう。あなたのお考えをお聞かせ下さい。スピーチコンテストについての何らかの決定はITCの役員会でなされますが、私たちはこのことについて話し合うことができます。

あなたのご質問を私あてにお送り下さい。このコラムは次の号に続きます。それでは、また。

武政千子訳（筑波クラブ）



批評の受けとめ方

How To Take Criticism p.12

批評—ITC用語で言えば評価—のきき方を学びましょう。よくありがちな誤り:

評価者が意図した以上のことを受けとってしまう。積極的な意見を聞かない。不正確な評価と正しい評価を見きわめない。事実より評価者の感情を問題にする。

評価を受けとるときは評価者が、(1)あなたをこきおろすことによって、優越感に浸ろうとしていないか、(2)進歩改善の余地がある点について評価しているか、(3)問題について理性的観察ができる程十分に知識があるかどうか、がわかるまでは(評価に対する)意見を言うのを差し控えましょう。そうしておいて状況に合った対応をすればよいのです。

出典: パーバラ・プレッチャー博士 全米女性販売員連盟理事

齊藤直子訳(筑波クラブ)

最優秀評価者コンテスト

Best Evaluator Contest p.23

Midge Peterson, A.C.

Miracle Strip Club

Ft. Walton Beach, Florida

スピーカーがコンテストになるのではなく、評価者がコンテストになるコンテストを紹介しましょう。このコンテストは評価をする際の技術や感覚をみがくのに役立つようにと発案されました。カウンスルで行われますがクラブにも応用できます。

1. 各クラブは一人評価者を出します。(或は三人用意してスピーチ終了後、抽選で一人コンテストを選びます。より多くの人に参加して頂きたいためにこのようなやり方をするのです。)
2. 各参加者クラブは一人の審査員を出します。(或はより多くの参加を望むために上と同じ理由で三人出し、コンテストの後に一人を選びます。)
3. コンテストの委員長は、この催しのプログラムリーダーを務めます。
4. スピーカーを一人決めます。スピーカーはコンテストの前にクラブ会員にそのスピーチを発表することは許されません。スピーカーは経験の浅い評価者にも評価の材料が与えられるように、簡単な間違いをするよう指示されています。同様に、経験を積んだ評価者にはより複雑な間違いが用意されています。スピーチは5分以内と決めます。
5. 評価者はスピーチが行われている間はノートをとり、その後会場を出て評価の準備をする部屋へと案内されます。そこで案内係は互いに会話がされないようにし、発表の順番を決めるくじを評価者達に引いてもらいます。5分経ったら1番目の評価者が発表会場へと導かれます。案内係はその人の名前を書いた3インチ×5インチのサイズのカードをプログラムリーダーに渡し、プログラムリーダーは評価者の名前だけを発表します。

評価者はスピーチに対して3分の評価をします。2番目、3番目と評価者は順番がきたら一人ずつ会場へと案内されます。各評価が独自のものであり、又先に行われたものに影響されないように評価者は順番がくるまで隔離された場所にいます。評価を終えたら一般の会場に残ってもかまいません。

6. 審査員は所定の用紙を用い、それぞれの評価者の言葉づかいは正しいか(新評価マニュアル参照のこと)、効果的で誠実で機知に富み、スピーチの主題に沿っていたか、そしてITCでの経歴を考慮して審査します。

評価者が発表の準備をしている5分間に新評価マニュアルについての教育を簡単に行うこともできます。全員の評価が終ると審査員は退場し、集って優勝者を決めます。この企画はカウンスル恒例のコンテストにすることもできます。

松本かをる訳(筑波クラブ)

考えは地球規模で一活動は地元で

Think Globally - Act Locally p.15

Ruth Lamb

ITC Past President

「われわれ(インターナショナル トレーニング イン コミュニケーション)の会員は、よりすぐれた意志の伝達を通じて世界中の相互理解の促進を願い、指導力の養成と、話し方の向上に積極的に努力することをここに誓います。」

私達は、会合のたびにこの宣誓をくり返し、様々な発表でそのすばらしさをほめたたえ、広報活動では、この考え方の意義を強調します—そして私達はこの宣誓を信じています。

私たちはITCが「世界中の相互理解の促進」に貢献していると確かに信じているのは事実です。全ITCは、多くの国々に拡大し、その国の会員が、ITCは変化をもたらしたと言っています。全体として、私達は、このような成果を正直に、誇りに思っています。

しかし、私達組織の国際性をほめそやす言葉を単純に述べるわけにはいきません。私達は、それを実行に移さなければなりません。真剣に、世界中のより深い相互理解を築くという誓いを信じているのならば、私達はその目標を積極的に達成しなければなりません。

では、どうすれば、一クラブが世界のより深い相互理解に貢献することができるのかと思われるかもしれません。

クラブはITCの基本的な単位です。もしクラブがこの価値ある目標を求めなければ、どうしてその組織が目標を追求しているといえるでしょう？

現実的に、クラブこそが、より深い相互理解を築く出発点であります。クラブ評価を考えてみてください。その強みと弱点を正直に評価して下さい。それから行動に移して下さい。あなたのクラブのプログラムを分析して下さい。宣誓の内容にそっていますか？もしそってなければ、国際性に関するプログラムを少くとも一つは加えて下さい。あなたは会員や役員に対して活気のない態度をとらないように気をつける必要がありますか？役員を励まし、支持してあげて下さい。ITCは学ぶための組織です。建設的な手助けとなる適正な評価は、役員がその役割を果たす為に選出された義務を遂行するのに必要な自信を与えます。新会員には、オリエンテーションに力を入れて下さい。オリエンテーションの時もカウンスルを無視してはなりません。最近、カウンスル例会に招待された新会員が次のように答えました。「まあ、私は出席したいです。私にはカウンスリングが本当に必要なんです。」この会員の所属するクラブは、十分なオリエンテーションを提供していなかったのです。

ではカウンスルはどうでしょうか？クラブが、ITCの最も重要なレベルであるとすれば、カウンスルは、クラブがその可能性を発揮する手助けをするために存在します。力不足のカウンスルはクラブをだめにします。

もし私達が、ITCは、より深い相互理解を築くことができると信じているならば、カウンスルは、クラブのニーズに合わせ、さらにそれらのニーズに応じて行動することによって、その目的を積極的に達成できるようにしなければなりません。

では、カウンスルはどのようにしてクラブを援助できるでしょうか？評価によってでしょうか？訪問することでしょうか？クラブの会員を使うプログラムででしょうか？毎年1回のカウンスル例会で、「考えは地球規模で一活動は地元で」というスローガンを利用して、ITCの国際性に焦点をあてることができるでしょう。ある会員にとっては、カウンスルレベルがITCに接するうちで、最も高いレベルになるかもしれません。ですからこの組織の国際性は、カウンスル例会にも反映されるべきです。

クラブはカウンスルに対しても責任があります。会員はカウンスルの委員会や訓練に参加し、カウンスルの活動を支えます。相互理解を深めるという共同の努力に、会員一人一人は部分的に責任

があります。

この努力に最も大きな妨げとなるのは、消極主義です。「私にはできません。」とか「そんな事はうまくいかない。」とか「もうそれは、私達がやってみたのです。」という言葉の裏にある消極的な態度を改めるようにしましょう。「私がやってみましょう。」とか「以前はうまくいかなかったけれど、少し変えてもう一度やってみましょう。」という言葉で、クラブやカウンスルをあと押ししましょう。積極的な考え方や計画がすばらしい結果をもたらします。これは言葉以上のものです。積極的な態度でのぞんで下さい。

アメリカ上院付の牧師であるリチャード・ハルパーソン氏は、こう言っています。「人々の75%は考えたことがないのです。15%の人たちは、自分たちが考えていると思っている。しかし、実際は、自分たちの持っている偏見をならべなおしただけなのです。」

ITCは、コミュニケーション技術を向上させたいと願い、相互理解を深めたいと心から望む聡明で思慮深い人々をひきつけると私は信じています。しかしもし、ハルパーソン氏の判断があなたにあてはまるとすれば、あなたは一度も考えたことのない人か、もしくは自分の偏見をならべなおしているだけかもしれません。そうだとすれば、ここで、積極的な態度を「プラス」してみてもどうでしょうか。

もう一つの「プラス」、これはITCにとって最も重要なものですが、お互いに与え合う、一对一の支持です。私達の組織は、一般に言われている意味での「支持団体」ではありませんが、お互いに手をさしのべ合う個人的な援助が、ITC会員の強力で、ユニークな面です。考えてみて下さい。困った時、病気や悲しい事があった時、あなたのITCの友人は、すぐに助けに来てくれます。私達は、いつも、世界中のITC会員間で親しい友情がはぐくまれている事を耳にします。ITCがなければ、知り合う事のなかった、あらゆる教育や経済背景の人々、あらゆる民族や宗教的信仰を持った人々と出会います。

このような交流から、お互いに支え合い、世界中の相互理解を深める機会を地球規模で与えてくれる基礎となる本当にすばらしい友情が育ちます。

このようなより深い相互理解を築くために、私達全員が自分たちの役割を果たそうではありませんか。自分たちの態度を検討し、消極的を積極的に置きかえて、私達が受けたり、与えたりできる援助に気づいて下さい。

インドの詩人であるタゴールが言っています。「言葉の親切は自信を生み、思いやりの親切は、心の深さを生み、与える親切は、愛を生む。」

愛を持って、地球規模で考え、地域で活動しましょう。

奥田小夜子訳 (錦クラブ)

ビジネスミーティングについて

Up With the Business Meeting p.22

Dee Dyer

BP Peninsula Club

Southern Africa Region

人生の中である時期、私たちはほとんど皆がある海を見てきています。すなわち、太陽の光輝く晴れた日の美しい淡い青や、レースのテーブルクロスのように岩をおおう白くくだけ散る波……。しかし、この一面的な見方では世界の海全体を把握することはできません。私たちは、目に見えない深さや広さがあることも知っています。

これはITCも同じです。グーグルとウェットスーツをつけて思いきってとびこむまでどのような経験をするができるか、想像することすらできないのです。例えば、基本的な議事運営手続き……。この手続きにより私たちは秩序のあるやり方で意志を伝えることができ、少数派の人にも意見を言う機会が与えられます。これなしでは民主主義は存在できなかったでしょう。

経験を積んだITCのメンバーとして、私は秩序ある会合があたり前になってしまったため、他の組織に参加するとその無秩序さに驚かされます。このような会合では時間が浪費され、気の強い人が万事とりしきり、気の弱い人はそっとひっこんでしまいます。それで欲求不満でじっとすわっていました。第一に臆病な自分自身に、そして第二に我がもの顔にふるまう人に腹を立てながら……。

しかし、海は私たちにその解決の糸口を与えてくれたのです。その深さの中にある議事運営の法則には、学ぶものが知ることができる工夫や、微妙な細かい点などがあげられています。運営の下手な会合の問題点にも答が与えられ、深い水をおそれない人には解決方法がわかってくるでしょう。人生の早いうちに議事運営の手続きに触れて、広く全てを見わたすことができるまでずっとかわり続けるべきなのです。

阿部玲子訳(柏クラブ)

新愛なる編集長

より高い資格を得るために、学校に戻って学んでいる年配の女性のことを耳にいたします。私は彼女らを偉いと思います。でも、私が再び学ぶなんてことはできない相談だと思っておりました。しかし、私は73才の時にITCに入会いたしました。そして、『徐々にITCになれてまいりました。』多分このことは、学ぼうとする気持が強く、怠惰な気持ちに打ち克ってきたからでしょう。

ITCは私に新しい世界を開けてくれました。クラブの勉強や友情を知っただけでなく、書くことの喜び、会話術、図書館で拾い読みをすること、学びの追求、一人で旅行する勇気などを再び発見いたしました。

ですから、会員の皆様、どうぞ年配の人々にも目を向けて下さい。彼らを見過ぎないで下さい。彼らに入会を勧めて下さい。年配の方々、「私はできません。私は立ち上ってスピーチをすることなどとてもできません。」などと言って隠れてはいけません。いいえ、あなたはできるのです。ただ、実行すればよいのです。あなたは決して、決して、学ぶには年をとりすぎているということはないのです。

Edna Taylor

Palm Beach Club

Queensland, Australia

新愛なるエドナさん

年齢がいくつであっても大切なメッセージをありがとうございます。私たちはみんな学ぶ能力があり、学ぶ必要があります。37才であっても73才であっても。

編集長

酒井徳子訳(筑波クラブ)

ITCの“I”

THE “I” IN ITC p.2

Howard Egerman

Silver Chimes Club, Oakland, California

私達の大部分の人にとって“I”は、自分を指す時の単数形人称代名詞の“I”を意味しています。ITCの“I”はもちろん“インターナショナル”の“I”を表わしています。ところが自分の国から外へ一度も旅行に出たことのない人々にとってインターナショナルという概念を正しく理解するのは、時々むずかしいと感じるでしょう。実際私達は遠く離れた所にいる会員によって書かれたコミュニケーターの記事を読んだり、年に一度出される世界中のクラブ名簿の長いリストを見たり、あるいは遠方の土地でそちらのITCがしている事についての代表者会議の報告を聞いたりするだけです。

しかしながら、ここカリフォルニア州のオークランドでは、シルバーチャイムクラブの会員達がアメリカン・エクスプレスのカードを使って旅行に出ることなく最近ITCの“I”がインターナショナルを意味することについて認識を新たにしました。

柴田ひささんは日本の26名の会員からなる筑波クラブの会長です。彼女はファウンダーズリージョンの中のクラブ会長宛に手紙を書きました。というのは、ITC50周年期間中にこちらを訪れて是非クラブのミーティングに出席したかったのです。

私達は新役員へ引き継ぎをする7月のミーティングに彼女を招待したところ、彼女はそれを承諾しました。

私達のプログラムにはラウンドテーブル・ディスカッションを取り入れ、ゲストにも参加してもらいました。柴田さんが話をする時、何千マイルも離れた日本とアメリカの距離が近くなったように思われました。

筑波とシルバーチャイムクラブには幾つかの共通点があります。両方のクラブの会員は資格認証プログラムにとりこんでいます。クラブの経歴は類似していて両クラブとも設立時に加入した会員がほとんどで、ほぼ5年を経過しています。筑波クラブは英語で会を行い、両クラブとも会員の目標は英語を使用することにより前進して行くことにあります。

私達は評価についても話し合いましたが、柴田さんのお話では、正直な所多くの日本人会員は評価に対して神経過敏になるようです。私達は自分達の経験から得たものを共に分かち合い、その経験を得る過程の大切さについて話し合いました。

柴田さんは私達のクラブの名前について不思議に思っているようでした。なぜなら日本のクラブは一般的に、ミーティングを行う場所のある都市の名前を会の名とするからです。私達は一つの鐘はかぼそい音しか鳴らないけれど、幾つかいっしょになると美しい音楽を奏でるということ、つまり自分達が同じ目標を持つ仲間であるという気持ちを大切に思っただけでクラブの名前を選んだ、という話をしました。

私達はクラブ史をお見せして、クラブがどのように統合されて行き、幾人かの会員がカウンスルの役員となるに至ったかを説明しました。

ビジネスミーティングの後に私達は昼食の為休憩に入りました。柴田さんは筑波クラブの目標を私達に紹介してくれました。その趣旨は“新しい方向に一步前進せよ”ということであり、そのねらいは新しい方面で訓練を通して成長するという事でした。

私達はゲストの訪問により多くのことを学びました。もちろん彼女もそうだと良いと思うのですが。私達は異なる言語と異なる文化が共通の目標や関心事を持つことの妨げにならないことを学びました。私達はITCが本当に世界を狭い場所にすることを学びました。しかも、私達はITCの“I”が私達の“We”を意味していることも学びました。

兜美智子訳(筑波)

〔質問〕 ITCのメンバーは誰でも会則の修正案を提出してよろしいのでしょうか。それともクラブ、カウンスル、リージョン、ITC役員会、またはITC委員会から提出されなければいけませんか。

〔答え〕 慣例では、クラブ、カウンスル、リージョン、ITC委員会、ITC執行委員会そしてITC役員会のみ、会則の修正案を提出できます。これはITC会則の10条E項1の会則委員会の職務によるものですが、「修正」と題されている17条には提出する人の制限はありません。たぶんこの条項は、そのことを明確にするための修正が必要でしょう。

〔質問〕 最近のカウンスル例会において、評価者が予算を承認する前に請求書の支払いを認めるべきではなかったと言われましたが、これは正しいのでしょうか。

〔答え〕 私たちは皆、評価者になります。そしてできるだけ良い助言をしようとしします。批判的な助言は、けっして個人に対する侮辱を意味するものではなく、単に評価者がよりよいと思う異なったやり方を提案しているだけなのです。私たちが、その提案を受け入れるか否かは自由です。この質問の場合は、議事録が読まれ承認されたすぐ後に、(あれば役員会の報告後)役員会の報告があると思います。会計は会計報告をし、会長は請求を求めましょう。普通この時請求に支払うための動議が出されます。これらが片付いた後、順番では、次のビジネスは「常任委員会報告」です。その中で予算委員会が報告書を提出し、承認を求めましょう。請求書については、予算にはいつているか否かを問わず、支払わなければなりません。支払いの権限は、予算がなく、カウンスル派遣員が持っています。組織の多くは、「授権予算」を採用しています。すなわちそれは、支出に対する権限を持っているという十分な理解を得て採用された予算のことで、特に決められた項目については、それ以上の承認を必要としません。ですが、私たちは、カウンスルレベルで予算を採用する時は、主に役員、委員または会員がその期間中使うことのできる金額の限度を設けているのだと思います。支払いのために、請求書はやはり派遣員の承認が必要です。カウンスルが「授権予算」を採用しようと、概算だけの予算を採用しようと、カウンスル期間の最初の例会の前にてきた請求書はやはり払わなければなりません。だから、予算はそれを含んでいなければいけません。また含めるよう修正されねばなりません。

〔質問〕 議長が、会計報告は監査のためにファイルされます、というのは不適當ですか。

〔答え〕 過去には、普通そうしていました。ですがもう使われていません。なぜなら、例会毎の会計報告を監査するのではなく、単に年次決算書と会計の帳簿に使われるからです。数字があっているか、そしてその数字が各例会の議事録の中の承認された数字とその時発表された収入に一致しているかをみます。ですから、今では、議長は例会毎に「会計報告書はファイルされます」と述べます。

〔質問〕 私たちは、ITCレベル例に従ってリージョン指名委員会を任命してよろしいのでしょうか。それとも、標準リージョン会則に示されたように選挙をしなくてはいけませんか。

〔答え〕 ITCレベルでは、会長が役員会の承認を得て指名委員会を任命します。これは、たぶん世界的な組織における唯一の実際的な方法です。ですが、クラブ、カウンスル、そしてリージョンは、一般に例会で指名委員会の委員を選出します。確かに、これは委員会を決めるのにもっとも民主的なやり方です。私たちの議会法のよりどころであるロバート法(P 363)によると、「指名委員会は可能な限り組織によって選ばれるべきである……会長がこの委員会を任命するべきでないし、また、職権上であれ何であれ、その委員のひとりになるべきではありません。」

カウンスルやクラブも同じですが、リージョンレベルでは、指名はあなた方が望む方法でしてよろしい。指名委員会の長所は、委員会が、ある役職に指名された人がその条件を満たしていること

を確かめる責任を持っていることです。この委員会の委員を選出することで、リージョン内の各クラブに代表者になる同等の機会を与えます。ですが、そのような委員会を選出することは強制的なものではありません。リージョンは、望む方法でその委員を決めることができます。

《質問》 ITC会則の11条の「加盟団体と後援者」は、「スピーチの仕方の教育や、指導者訓練の目的でジュニア交友会を作ることができる。それは、クラブの後援がある限り続き、ITCの会費は不要です。ITC資料は、後援クラブを通して購入できます」となっています。この会則では、カウンスルが他の組織のスピーチコンテストにトロフィーを贈ってよろしいでしょうか。

〔答え〕 はい、よろしい。そういう場合、カウンスルがトロフィーを贈ることを禁じる規則はありません。

《質問》 「ITC役員会が決めた規則に従って」というのは何を意味しますか。どの規則ですか。どこに書いてありますか。

〔答え〕 調べたところによりますと、Executive Committee and Board of Directors Policy Manual (執行委員会と役員会政策便覧)に、次のように記されていました。「ITC会則に規定されたコンテストの進行は、ITC慣例に可能な限り一致させましょう。決められたITCスピーチコンテストの日と同じ時にコンテストをしてはいけません。」ITCの慣例は、スピーチコンテスト規則 (毎年ITCコミュニケーター%月号に載っています) や、10月のメールで各クラブとカウンスル会長に送られるスピーチコンテストの小包でわかります。その小包には、有資格フォーム、審査員への採点票 (スピーカーが評価される点をすべて含んでいる)、集計係の計算用紙、公式審査員の投票用紙等が入っています。これらの用紙は、スピーチコンテストをする場合、もっとも有効です。必要ならコピーしてもよろしい。

〔注〕 次の事は忘れないで下さい。7月のITC大会では、「国際レベルでは、現行会計年度におけるそれまでの優勝スピーチのどれを使ってもよい。」

早瀬好子訳(筑波クラブ)

リージョン会報第2号の訂正

リージョン会報Vol.7 No2を下記のように訂正、補足して下さい。

〔誤〕	〔正〕
P. 6 8行目 500円又は…	→ 5,000円又は…
P. 9 Reservation	→ <u>Reservation</u>
P.12 登録会計 奥田小夜子	→ 堀尾奈央
P.20 The Art of Sileme	→ <u>The Art of Silence</u>
P.25 9行目 2,000ドル前納	→ 200ドル前納

SUMMATION OF RESULTS OF THE "YOU TALK—WE'LL LISTEN" OPINION POLL

ITC会員の皆様へ

リサーチ委員会より 「ご意見をお聞かせ下さい」の意見調査結果のまとめ

会員の60%以上が解答をして下さり、大きな反響がありました。最終的に12600以上の解答を分析しましたが、その時点でもまだ委員会に解答がよせられて来ていました。この報告のために、北アメリカと北アメリカ以外の地域(A.O.N.A.)の数の多かった答えをのせました。

		北アメリカ	A.O.N.A.
1. ITC入会の理由	自己啓発	56%	42%
	伝達しあう為	32%	19%
2. ITCをどのようにして知ったか?	友人 / 親類 / 職場の同僚	77%	65%
	新聞 / 雑誌 / マスコミ	11%	21%
3. クラブ例会に定期的に出席しますか?	はい	85%	97%
	参加する / 学ぶ	41%	30%
	義務感	22%	19%
	仲間意識 / 友情	21%	5%
	いいえ	6%	0%
4. カウンシル例会は定期的に出席しますか?	はい	85%	69%
	参加し学ぶ	39%	19%
	仲間意識 / 友情	34%	8%
	義務感	19%	9%
	娯楽	4%	25%
	いいえ	30%	31%
	家族 / 仕事の為	39%	8%
5. リージョン大会は定期的に出席しますか?	はい	44%	30%
	参加し学ぶ	51%	10%
	友情 / 仲間意識	26%	5%
	いいえ	35%	60%
	時間 / 距離 / 経済的理由	37%	29%
6. ITC大会に参加したことはありますか?	時々	11%	8%
	はい	54%	17%

		北アメリカ	A.O.N.A.
	参加し学ぶ	73%	14%
		(オーストラリア12%)	
	仲間意識 / 友情	18%	0%
	いいえ	46%	81%
	時間 / 距離 / 経済的理由	69%	49%
7. 仕事を持っていますか?	常勤	61%	39%
	パートタイム	18%	22%
	退職	11%	15%
	いいえ	10%	18%
8. 会員歴	1年以下	9%	22%
	2～5年	41%	42%
	6～10年	29%	20%
	11～15年以上	10%	13%
9. 年齢	30才以下	8%	2%
	30～39才	14%	12%
	40～49才	24%	39%
	50～59才	30%	25%
	60～69才	19%	18%
	70～75才	4%	5%
	記載なし	1%	13%
10. 性別	女性	99%	99%
	男性	1%	1%
11. ITCの機関誌を読みますか?	はい	87%	83%
	いいえ	7%	8%
12. ITC教育資料を利用しますか?	はい	65%	64%
	いいえ	4%	26%

13. ITCの最も大きな特徴は何だと思われますか?

この分野では、広範囲にわたる解答がありました。この報告の為に、各分野で最も多くあった解答のリストをのせました。ここには、パーセントは記入してありませんが、解答が多岐にわたった為に、統計を出せなかったからです。解答者が重要だと答えた順に並べてあります。

北アメリカ	A.O.N.A.
仲間意識 / 友情	励まし / 他の人からの援助
自信をつける	友情 / 仲間意識
個々の訓練活動を提供してくれる	国際性
絶えずチャレンジできる	個々の訓練活動
評価	自信 / 自己啓発

15. ITCで、何か変える必要があると思われるか?

この質問には、特に際立った傾向の解答はありませんでした。解答は多種多様で、提案された改革案を列挙することはできませんでした。最もパーセントが多かったのは、「無解答」もしくは、「改革の必要なし」というものでした。提案された改革は、大多数が、クラブやカウ

ンスレベルで処理されるべきものでした。例えば「ビジネスが長すぎる」「役員が役割を果たしていない」「話題がつまらない」といったものでした。委員会は、様々な改革案の長いリストをよく検討した結果、ITC役員会に次のような勧告をしました。

- 1) 必要があると認められる限り、「ご意見をお聞かせ下さい」セッションを続ける。

役員会の処置：このセッションを続ける事。

- 2) 機関誌の1ページを会員からの質問に答える形で掲載する。このページの50%は北アメリカ以外の地域からの質問にあてる。

役員会の処置：ルース ラムさんがコミュニケーターのこのページ担当に任命されました。住所：Ruth K. Lamb

6347 S.E.Scott Drive

Portland, Oregon

97215 U.S.A.

ルース ラムさんには、役員会の最新の政策をいつも知ってもらい、質問に答える前に、役員会と相談することになっています。もし疑わしい点がある場合は、ルース ラムさんは、場合に応じて会長あるいは議会法規役員に確認する事になっています。

(受け取った質問に応じて、できるだけ世界中のITCから送られた質問を取りあげる努力をします。)

- 3) ITCの特別計画を促進する為にオールクラブメイリングのかわりに機関誌を使う。

役員会の処置：コミュニケーターで寄付金を集めるよう促進する。

- 4) 私達組織の仲間意識/友情という面を今後の広報活動や、新会員勧誘の手だてとして利用する。

役員会の処置：このような会員の考え方を強調する。

- 5) 「TAKE FIVE」活動の刷新は、「あなたはスターだ」の活動をすすめる事から始める。コミュニケーターに関連記事をのせる。

- 6) 委員会は、役員会が実行する活動の成り行きを評価する。

役員会の処置：ITC役員会は、「ご意見を聞かせて下さい」勧告の進展を評価する特別委員会を設立する。この委員会は、「ミーンズ」委員会（ある特定の目的達成を可能にする手段という意味のmeans）とする。

- 7) 特別の地域のリージョンニューズレター用に、会長もしくは会長により指名された者が記事を書く。

a. 日本リージョン用に記事を日本語に翻訳する。

b. アイスランドリージョン用に記事をアイスランド語に翻訳する。

c. どのリージョンにおいても、国際性と増設に特別の重点をおく必要がある。これは、特に北アメリカ以外の地域において必要である。

役員会の処置：この責任は、新しく設立された「ミーンズ」委員会に与えられる。

当委員会は、調査に際し御協力下さった会員の皆様に感謝いたします。解答をいただいた数により非常に多くの会員の方々が、聞き入れてほしいという意見を持っている事が明らかになりました。この勧告により、会員のニーズにあうように改革できるよう委員会は心より願っております。委員会は、会員の意見が反映された結果ばかりでなく、反映されなかった部分についても会員に研究していただきたいと思っております。お気づきかと思いますが、結果発表では、プログラム作成に関するものは除いてあります。分析結果を見ると、パーセントを加えても100%にならないものも多くあった事に気付かれたと思っております。これは、全部の分類項目を列挙できなかったり、解答のないものもあつたからです。新しい委員会には、会員のニーズに引き続き応えられるよう、分析結果のすべてが

入手できるようにします。

北アメリカ以外の地域の結果から国際性の重要である事を強調する必要があると明らかになりました。このことも又新会員勧誘と増設に利用できます。

全部に答えが見つかったわけではありませんが、会員のニーズを聞き入れそれに応えて活動するという正しい方向への出発ができました。「ご意見をお聞かせ下さい」の手紙をお送り下さい。

リサーチ委員会 Jean Gaddis, 委員長
Norma Ewin
Ruth K. Lamb

阪神クラブプログラム委員長 古市愛子

こんなプログラムは如何？

阪神クラブは創立以来24年になり、毎月のプログラムの表紙をプログラムリーダーのアイデアで作成し、全員一同楽しみにしておりました。

2、3年前から表紙にはITCのエンブレムを入れ、裏表紙にITC宣誓、綱領、モットーを書き入れ印刷したのを使っておりました。表紙が毎月同じなら一年中のプログラムを一冊にすべて綴じ込んではどうかと考え、神戸クラブのプログラムを参考にさせて頂き、小冊子にしてみました。

新入会員は、オリエンテーションを受けず、紹介者のシスターにITCのことを教えてもらうだけなので、新入会員にもITCを早く理解してもらえるよう、テイク5にも利用出来るようにと、第一頁には、“ITCとは”“ITCは次の機会を与えます”“創立者(アーネスティン・ホワイト女史)のことは”を入れ、阪神クラブの歴史、スピーチコンテストでの阪神クラブ会長の活躍等、日英両国語でまとめてみました。

これ以後の頁は毎年差し換えられるようにと簡単にリボンで綴じた手造りです。

年度の各レベル、ITC、リージョン、カウンスル、クラブ会長名とテーマ、阪神クラブ役員名一年間の例会日時と場所、カウンスルNo.2 所属クラブ例会日時、連絡者、各クラブ書記の電話番号を表にして記入し、他クラブの訪問もしやすいようにと思いきり書き入れました。

続いて常任委員会配属表、テレホンツリーに名簿を毎年会員に渡しているA 4及びB 5型を縮小して綴じ込み、最後の頁には、一年間のカウンスルNo.2 例会日も入れたプログラム、毎月のテーマ、教育のテーマ、各役目を書き入れたスケジュールをB 5サイズを横にして折りたたんでつけました。

これ一冊あれば例会出席OK。全体の大きさがB 5サイズ半分なので、少し小さくて見にくいかもしれませんが、この一年試作としてプログラム委員会で作成しました。

字が小さくて見にくい方には、希望の大きさに拡大しますとアナウンスしてあります。

コピー機の発達、ワープロの発達にともないこんなことも出来ました。

会員の皆様も一年間の予定が立ち、都合の悪い時には役目を交替してもらうことも出来てよいのではないかと考えております。こんなプログラムのアイデアは如何ですか。



ITC日本リージョン補正予算



1888年 8月～1989年 7月

項 目	予 算 額	中間決算	補正予算	増△減▼
収入の部	¥ 415,840			
繰 越 金	3,000,000	¥ 415,840	¥ 415,840	
金 費	19,500	3,155,000	3,155,000	
I T C 増 設 補 助	20,000	19,500	19,500	
歳 入 財 源	30,000		20,000	
利 子	3,485,340		30,000	
収 入 合 計	¥ 3,485,340	¥ 3,590,340	¥ 3,640,340	△ ¥ 155,000

支出の部

会報印刷代その他	1,200,000	509,160	1,200,000	
交 通 費				
役 員 交 通 費	500,000	271,040	500,000	
任命役員交通費	80,000		40,000	▼ 40,000
委員長交通費補助	150,000	55,420	200,000	△ 50,000
役 員 活 動 費				
会 長	100,000	51,010	100,000	
次 期 会 長	15,000	8,455	15,000	
第 一 副 会 長	50,000	11,490	50,000	
第 二 副 会 長	20,000	13,800	30,000	△ 10,000
書 記	50,000	12,155	50,000	
会 計	35,000	9,830	35,000	
議 会 法 規 役 員	5,000	4,790	10,000	△ 5,000
編 集	30,000	9,520	30,000	
委 員 会 活 動 費				
賣 格 認 証	3,000		3,000	
会 計 監 査	2,000		2,000	
予 算 ・ 財 務	6,000	2,810	6,000	
会 則 ・ 決 議	30,000	1,420	30,000	
選 挙	3,000		3,000	
増 設	30,000		30,000	
国 際 交 流	80,000		80,000	
指 名	10,000		10,000	

広 報	¥ 20,000	¥ 26,320	¥ 35,000	△ ¥ 15,000
出 版	30,000	1,650	30,000	
スピーチコンテスト	10,000		10,000	
翻 訳(郵送費)	20,000	24,985	40,000	△ 20,000
特 別 委 員 会				
朗 読 研 修 補 助	30,000		30,000	
事務局設立準備	30,000	4,310	50,000	△ 20,000
派遣員資格確認	10,000		10,000	
I T C 基 金	3,000	1,500	3,000	
配布書類及び送料	100,000	72,040	100,000	
増 設 補 助 金				
I T C 本 部	19,500		19,500	
リ ー ジ ョ ン	100,000	19,600	100,000	
役員研修資料費	20,000		20,000	
I T C 大 会 出 席 補 助				
会 長	50,000		50,000	
次 期 会 長	50,000		50,000	
ス ピ ー カ ー	30,000		30,000	
物 品 資 料 購 入	50,000	4,900	50,000	
慶 弔 費	10,000		10,000	
事務局運営補助	280,000	280,000	280,000	
C M T 出 席 補 助	70,000	60,000	130,000	△ 60,000
予 備 費	168,840	38,690	153,840	△ 15,000
支 出 合 計	¥ 3,485,340	¥ 1,494,895	¥ 3,640,340	△ ¥ 155,000

1989年3月3日現在 日本リージョン予算財務委員会

古市愛子・立花真琴

編集者より

原稿規約

1. 日本語は原稿依頼時に同封する原稿用紙を使用して下さい。
2. 黒ボールペン又は鉛筆を使用し、楷書ではっきり書いて下さい。
3. 英文はB5の用紙にダブルスペースでタイプ(ワープロ)して下さい。
4. 記事は、会員にとって教育的価値を持つものが望ましい。又、ニュース価値のある記事は、誰が、いつ、どこで、何を、何故、どうしたかが書かれている正確な記事をお寄せ下さい。

PUBLICATION GUIDELINES

1. When the article is written in Japanese, please use manuscript papers(with squares for four hundred characters from left to right) which will be enclosed in our letter of request.
2. Please write in block style with black ball point pen or pencil.
3. When the article is in English, please type(or use word processor), double-spaced, on B5 size papers.
4. Articles that have educational value for other members are appreciated. Please do not forget to include who, what, why, where, when, and how in the articles of news value.

編集後記

会報第2号の編集をしておりました時は、まだ「昭和」の時代でした。リージョン会報にとりましては、この第3号が「平成」の時代に入りましてからの初めての発行となりました。

第3号の「山本尚様のスピーチ」の中で、日本のITCが発足した事情が述べられております。それによりますと、日本のITCは、昭和の悲惨な戦争の終了後にアメリカの占領下で発足しました。しかし、40年たった今日、ITCは大きく発展して「昭和」から「平成」へとひきつがれました。

この記念すべき時期にリージョン会報の編集に参画できますことに大変意義を感じています。と同時に、この小冊子が出るまでには、どんなにか多くの皆様のご協力があったことかと思うと感謝の思いで一杯です。

まもなくリージョン大会が催されますが、大会のテーマ「飛翔」のように、日本ITCの今後のより大きな飛躍を祈っております。

リージョン会報編集者：堀内 廸子（錦）

アシスタント：飯沼佐智子（々）

石川 好子（々）

川崎 瑤子（々）

奥田小夜子（々）

